京城日報

廿一日夕刊

定價 本紙 一部金三錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢 一ヶ年金六圓九拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金壹圓 ▲欄內一行金六拾錢 ▲三號活字一行金貳圓

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社

汽車時間表 (七月十日改正)

郭家店の激戰

支那兵の大敗—休戰の妥協成る—蒙軍の意氣盛ん

二十日郭家店に於て蒙古軍と支那兵との戰鬪あり支那兵は步兵三營騎兵一營砲兵一營にして激戰數回後支那兵は大敗し潰亂して南方二里外に退却せり之と共に或る向きの斡旋に依り蒙支兩軍間に休戰の妥協成り蒙古軍は近く某地點に去るべしと傳へらる蒙古軍は意氣頗る旺盛也(大連特電)

林公使の國書捧呈

接待頗る慇懃を極む

林公使は十九日午前十時馬車を驅り支那儀仗兵の護衛にて總統府に臻り黎總統に謁見して新任の挨拶をなし御親書を捧呈せり黎總統の林公使に對する接待頗る慇懃を極め公使在任中特に禮遇を厚うすべき事を以てせり(北京電報)

林公使の挨拶

黎大總統に國書捧呈の際

十九日國書捧呈の際に於ける林公使の挨拶左の如し(北京特電)

本職貴大總統閣下
日本國大皇帝陛下の欽命を謹奉し任に貴國に臨み今茲に貴大總統閣下に親謁し國書を捧呈するの光榮を有す維ろに貴我兩國比隣接合利害關係甚だ親密なり如今貴國政變局を收め南北統一衆望歸する所となり貴大總統新に任に就く是れより邦紀愈々鞏固を致し兩國の交際愈々親睦を加ふべし此の秋本職使を奉じ貴國に再任す當に微力を盡し努めて邦交の親善を圖るべし利益を共にし裨補する所あらば何ぞ欣幸に堪へん幸に閣下健康を攜ひ以て使命を全ふせん事を切望す謹んで茲に貴共和國々運隆昌貴大總統閣下の幸福を祝す

ヒンデンブルグ將軍の辭職

アムステルダム來電に曰く獨逸第一軍司令官ヒンデンブルグ將軍は辭職しホルレン將軍其の後任となれり(倫敦電報)

塞勃兩軍の激戰

サロニカ來電に曰く塞耳維軍はドルヅエリに於て勃牙利軍と激烈なる戰鬪を行ひ同所は幾度か兩軍の間に爭奪されたり(倫敦電報)

古蹟臺帳登錄

調査委員會の決議物件

古蹟調査委員會は成立以來今日までに二回の集會を開きたるが其の結果古蹟及遺物保存規則に依りて保護保存の要ある古蹟並に遺物を選擇し之を臺帳に登錄して以て猥りに其の位置を移轉若くは損傷することを禁止す可きを議決せり今回の登錄決議物は主として國有に屬する金石物中の主要品二百八十點にして其の重なるものは京城パコダ公園內の塔及び碑、平安南道龍岡郡內の粘蟬祀山碑等なるが尙ほ忠淸北道淸州龍頭寺址の幢竿其の他二十五點は相當修繕を加ふる必要あるを認め又た國有以外のものに在りては慶尙北道榮川郡浮石寺無量壽殿並に祖師堂其の他一件に對し保存費補助の件を決議したり而して此の決議は山縣委員長より總督に報告し其の決議を經て不日其れ其れ措置の運びを見る可し

酒稅規則發布

豫て考案されたる酒稅令施行規則は諸般の手續を了したるを以て愈々二十二日の總督府官報を以て公布の事となれり全規則は全文八十二條より成り酒稅令の施行期日即ち九月一日より實施の筈なり

浮塵子發生

忠北農民の憂慮

本年は南鮮地方に於ては挿秧以後時雨交々到り甚しく蒸熱を加へたるより浮塵子の發生及び蔓延には恰好の氣溫を呈せる事とて各道とも一般農民に對して特に警戒を加へ之れが發生に注意を拂はしむると共に驅除豫防を督勵し當局も呼應して以て專心之が驅除に努め居たるが昨年之れが慘害を蒙りたる忠淸道にては俄然保寧、舒川二郡に於て約二百町步の面に其の發生を見るに至り扶餘郡に於て又た約百町步の面に發生せるのみならず燕岐、大田の三郡に在りても散在的に少許の發生あり當局及び當業者に於ては之れが處置に努め居れるが未だ十分の驅除を見ず殊に目下は各方面とも潅漑水豐富なるため注油驅除に不便なく漸次驅除豫防の蹟を擧げつゝあり然れども昨今の氣候は前述の如く浮塵子の發生蔓延に好適せるより萬一往年の慘害を繰り返すの虞なきを保せずとて何れも憂慮し居れり

高等地查委員會

高等土地調查委員會第一部委員會は二十一日午前十時より總督府第一會議室に開催し小原委員長以下各委員參集し土地查定不服申請に關する件を審議し十一時散會したり

雇員試驗成績

過般の總督府雇員試驗受驗者は總員八十五名なりしが合格者は二十七名に過ぎず其の中總督府給仕中より合格せるもの四名なりたり

德壽宮御訪問

李王並に同妃兩殿下は二十三日午前十一時昌德宮御出門德壽宮に御成あり李太王殿下を御訪問御見舞を申述べられ午餐を共にせられたる上午後三時御歸還の筈なり

荒井長官東上

荒井度支部長官は既記の如く大正六年度總督府豫算に關する要務を帶び不破事務官帶同二十一日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上す

國分長官巡視

司法部長官國分三亥氏は司法事務視察の爲め二十二日朝南大門驛發汽車に搭乘、平壤、鎭南浦及び新義州を巡視の筈なるが其の日程は二十二、三兩日平壤滯在二十五日鎭南浦に向ひ一泊の上新義州に入り二十九日まで滯泊三十日歸任の豫定なり

井口中將留別

軍事參議官に轉補せられたる陸軍中將井口省吾氏は既報の如く二十六日午後三時より朝鮮ホテルにて朝鮮貴族、政務總監初め總督府及び附屬官署勅任官、各課長、將校、會社銀行代表、外國領事、各新聞通信社代表者及び主なる夫人等三百餘名を招待し留別の茶會を催す筈にて二十二日夫々案內狀發送の豫定なり又中將は連日車馬絡繹として轉補挨拶の來訪踵を繼ぎ居れるが既に大體の荷物は發送を了し餘は手荷物のみと爲し二十八日午後七時五十分出發に際しては副官一名東京迄隨行すべしと

秋山中將著期

新任駐箚軍司令官陸軍中將秋山好古氏は東京にて前任井口中將よりの事務の引繼を了し三日東京發途中京都へ立寄り六日若しくは七日朝着任の筈なり因に中將は家族を伴はず單身着任の豫定なりと

井出氏出發期

前駐箚軍經理部長主計監井出治氏は九月上旬龍山を引揚げ東京へ出發すべしと

黑板博士動靜

入京中なる黑板文學博士は今西文學士同伴二十一日中樞院及び博物館を視察したるが近日中北漢山登攀を試むべしと

ローゼンタール氏

駐日和蘭公使館附武官陸軍大尉ローゼンダール氏は九月五日東京發十日頃入京、羅南會寧咸興龍山平壤の諸兵營を視察し更に支那視察の途に就く由

兵庫縣地主團

兵庫縣農會の主催に係る地主團三十名は九月十九日同地出發來鮮の事となれり一行は釜山上陸後各地の農況を視察し新義州方面より引き返へし歸國の筈なるが京城には二三泊の豫定なりと

京城酒造業者召集

朝鮮酒稅令の發布に伴ひ更に京城の當業者及び朝鮮酒造業者聯合會等より其筋に請願書を提出する所ありたるが京城府にては此際管內の當業者一同を召集し法令の趣旨に就て周知せしむる必要ありとし二十四日より二十七日迄每日午前中學校組合樓上にて會合を催し北村事務官より說明する所あるべし

學校組合會議期日

京城學校組合にては既報の如く大正四年度決算承認其他の件につき來る二十八日組合會議を召集することに內定し數日中に召集狀を發送すべしと

京城府の脫稅者處分

京城府は府內の自轉車所有者にして屆出を爲さず故意に脫稅を爲し居る者二千餘名の多きに達し居る見込にて之れが處分を行はんがため客月末より前後二回に亙り自轉車にて途上を通過する者を誰何し脫稅者に對しては相當訓戒を加へ夫々屆書を行はしめたるが更に二十一日は龍山出張所に於て檢稅を行ふ所ありたり尙今後に於ても時々前記の手段に依り脫稅者の根絶を圖る方針なりと云へば自轉車所有者にして無屆の者は至急此際屆出を爲すべしと

仁川穀物市況

例年のレコードを破る

仁川穀物市場は每年六、七月前後は閑散なるが例なるに本年は期米渡しの未曾有の石高なる爲め之れに提供する準備米の各地より廻著する者非常に多く從つて八月上旬に入る迄の穀物集散狀況は一般取引狀態に於て又は運搬業及び倉庫業に於ても空前の盛況を呈し海岸通り斗量場或は驛、稅關等常に籾の山を築き所謂米の仁川たるを偲ばしむる觀ありたり然るに黃海道米は每年六月以降卽ち他道廻著米の拂底する頃より盛に出廻りを見るが例なるも今年は昨年同地方の凶作なりしと一方檢米施行の結果調製上に於て非常なる手數と勞力と經費を要する等の諸因により各地方よりの廻著例年に比し非常に少なかりしが如し由來黃海道米にして他道に後れて出廻るべき原因に就き考ふるに同地方の產米多額なると土地肥沃なる等の關係より生活上他に比して幾分の餘裕あり從つて出盛の時期に放賣するは各農家の經濟上に於て不利なるを以て徐々に時機を俟ちて賣買を行ふを以て唯一の商略と爲せし結果自然斯る秩序ある商習慣を作りたるならんと察せらる故に黃海道米の出來不出來は卽ち仁川穀物市場に大なる影響を與へ其豐作の年は仁川當業者の期待も亦尠なしとせざるが如し然るに近年同地方米の聲價揚らざる所以は昨年の不作が原因にして一方檢米實施に伴ふて一概に同米の不成績を放つ次第なるが這は不作の結果に外ならず如上迄殆ど出盛りたる爲め本月上旬に至るの如く市場閑散の時期に於て他道米の僅かに衰へざる所以は又々八月限りの受渡準備として引續き廻著する者あり此期間を經過せば幾分か閑散なるべきも未だ容易に前途を卜し難き者あり近時廻著せる黃海道米にして水色其他同方面より東拓の手を經て廻著する者は至つて優良にして在來種と雖も凶作時には迚ても見る能はざる程の品なりと云へば或は良作時の貯藏米なりとも稱せらる如斯盛況を來したる仁川穀物市場はあらゆる方面の產米を以て充滿し驛廻り汽船廻り又は朝鮮帆船廻り等少なからず市場大に潤ひ居るは事實にして各銀行倉庫又は私有倉庫等何れも充棟せらる例年の閑散時に於て市場如斯殷賑なるは主として未曾有の受渡に基因する所にして十八日の如き大受渡の著手ありしが不幸にして賣買者間に多少の異議起り全部山積の儘解決なきも其七月限の殘數僅かに三分の一位なれば近く片付くならんとは一般的觀測なり之れを從來の受渡に徵するに今回は石高の嵩めるに拘はらず餘程進捗したるは畢竟商取引上より脫して一歩を進め又檢查の名稱が大なる素因を爲したるものと謂はざる可らず而して地摺米は數日來可なりの人氣にて上物十二圓五六十錢下物十二圓內外忠淸道籾の上物六圓內外黃海道五圓六十錢見當にて商談纏り其他沿岸地方各島嶼より朝鮮帆船にて廻著する籾の入荷も漸々あり一方鐵道便にても續々廻著しつゝありて穀物市場の景氣未だ閑散と謂ふを得ざる狀況なり(仁川)

米國南洋艦隊計畫

米國は新たに南洋艦隊を建設せんとの計畫中なり(紐育電報)

獨逸へ金貨密輸出

莫斯科に於て波斯を經て獨逸に金貨の密輸出を爲しつゝありし秘密團發見せられ巨魁ヲテルヤヲフを捕縛せりと(哈爾賓電報)

對支要求過大ならず

對支要求は帝國政府に於て日支親善の意を以て過大の要求をせざると觀測さる(東京電報)

青木中將招聘

支那の軍事顧問

參謀本部附陸軍中將青木宣純氏は過回支那政府より軍事顧問として招聘の旨申込みありたるが日本政府は之れを承認せり(東京電報)

露國軍用靴注文

露國政府と我が陸軍省間に於て軍用靴二千六百萬圓の注文契約成立せり(東京特電)

大阪財界近信

▲久原家と鴻池　久原家が新に銀行業を營むとの說ありしが別に久原銀行を新設せず鴻池銀行を事實上讓受けて之れが經營の任に當るべしと傳へらる而して鴻池の個人經營たる銀行を株式組織に更め久原家に其の大部分の株券を所有せしめんとするものにて此の相談は久原氏と鴻池の原田氏との間に進捗せりといふ右にして事實とせば大阪銀行界に一味精銳の氣を揚ぐるものといふべし

▲精糖調節策　糖界先般來の不味商情は糖價の漸落を誘致し二十二圓二、三十錢迄落込みたるより過日來協議中なりしが十八日に至り東京に於て大日本明治臺灣の三精糖會社會合の結果協定値を以て二十二圓五十錢と決定し之を最低限度と定め其れ以下にて賣却するものあらば三會社に於て協定値を以て買上ぐる事の糖價釣上げ調節策をとるに決せり されば前日市中二十二圓二十二錢處を唱へ居れる精糖が二十錢高の二十二圓四十錢以上を唱ふるに至り一般に買手旺盛の姿にて賣物鮮少なりと蜜亦之が好氣配をうけ五錢方値の十八圓四十五錢を唱ふるに至れり

▲原產地證明延期　濠洲への輸出貨物は八月一日以降英國領事の原產地證明を要する事となり居たる處右は延期されたる由

▲對濠洋紙商談　濠洲より我國に對し約千噸の洋紙注文あり內二百五十噸だけは手合出來せり濠洲市場に於ける市場の昂騰を待ち續て商談あるべき模樣なり(十九日大阪支局發)

元山

▲府協議員會　十九日午前九時より開かれたる府協議員會に於て附議されたる府歲入出豫算追加の件水道債元利償還額更正の件は何れも原案通り可決されたり

▲道路改修と打合　元山府にては元山里道路改修に就き十二日午前十時より改修委員召集の上打合せをなすべしと

▲學校組合檢查　元山學校組合に於ては來る二十八日を以て同會計檢查委員に依り會計檢查を行ふ筈

▲分隊長歸任　元山憲兵分隊長高瀨圖治氏は過般歸省中のところ二十日朝第三琴平丸にて歸任せり

▲幼稚園の設備改善　元山幼稚園は二十一日より始業したるが同園は今回運動具玩具の如きを新に購入し其他幼兒保育上漸次改善を施しつゝありと

▲咸南金融客月成績　咸南に於ける各地方金融組合は其の成績漸次良好に向ひつゝあるは事實にして從來金融組合員たるを嫌忌したるものまでも今や農事經營上離るべからざるものあるを認め自ら進んで組合員たらんとする傾きあるに徵せば將來に於ける之れが進步は期して待つべきなり而して客月中の成績を總括するに其貸付金十五萬四千二百二十二圓利益金二萬二千二百九十一圓を算し居れり

清津

▲阿片密造檢擧　昨今阿片製造の季節になれるより茂山郡地方森林內に密かに罌粟を栽培せし朝鮮人は其結實より白汁を採りて之を阿片煙に製造しつゝあるより所在憲兵派遣所にては森林內を物色して之が檢擧に努めつゝあるが既に檢擧せられたるもの十餘件に及べり然して此が密造者の檢擧には最も苦心を要するは渠等は人足稀なる森林中を二、三畝多きは一、二町にも亙りて開墾し之に罌粟を播種するものなるが同地方は夏期より秋期に掛け濃霧濛々として山谷を罩め居れば高所に登りて望瞰するも容易に其所在を知る能はずと云ふ尙ほ對岸間島領にても罌粟の密栽多きが今回巡警局にては軍隊と協力して之を取締る事となり五、六名一組となせるもの十數組の搜索隊を組織し之が檢擧に努めつゝあり

▲酒精密輸發覺　酒精の露領密輸有利なるより近來咸北道朝鮮人にして之を帆船に積載し露領沿岸に密輸を企つるもの多く中には露官憲に發覺せられて船諸共酒精を沒收さるゝものありとの事なるが去月二十一日清津府浦項洞崔士文(三四)及び雄基港居住鄭順道(三七)は各酒精五箱と十五箱を雄基より帆船に積み對岸露領サンコンに密輸入を企て何れも稅關の發覺する所となり取調中也と

▲咸北農作豫想　咸北地方の農況は本春發芽以來風雨順なるを得て生育頗る良好主作物たる粟、稗、大豆等は既に出穗或は開花を爲せるが本夏當地方は近年になき旱天續きなりしより作物の要雨期たる出穗期に於て幾分旱害の氣配ありしも中旬適當なる降雨ありし爲め農作物は何れも蘇生の趣きあり充分なる結實を得べく本秋の豐作を豫想しあり

▲鐵道枕木納入　清會線第四、五工區に要する枕木の一部五萬本は過般鐵道局より清津新商行に納入指名せられたるが納入期間は來年七八月限りなりと

▲楢野府尹歸任　東京へ出張中なりし楢野府尹は十四日小倉丸にて歸任せり

▲府郡財務會議　咸北道廳にては十六日より四日間府郡財務主任書記を召集し會同を催せるが終了後清津港關係府郡書記の爲め清津に於て開催さるべき船舶調度法講習會に臨席すべしと

▲羅南學校近況　羅南小學校は在住者の增加に伴ふ就學兒童の增加より今回校舍の增築工事を行ひたるが現在の兒童數は二百二十四名にして四月學期初に比すれば三十七名の增加を示せるが更に夏季休暇後は十餘名の入學兒童あるべき見込みなりと

▲砲兵聯隊長視察　羅南野砲兵聯隊長は十六日清津上陸翌日目下野砲隊の實彈射擊實習視察の爲め同隊の行軍中なる會寧山城山に向つて出發せり

人事消息

▲大井慶尙南道警務部長(?)氏　廿日午前新田丸にて釜山上陸赴任せり
▲櫻井小一氏(仁川稅關長)　同上
▲末田新松氏(海州農學校長)　二十日夜入京吳羽旅館へ
▲スーシユコツト氏デウイス氏(以上米人)　二十一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲荻田悅造氏(總務課長)　統計事務視察の爲め三日間の豫定にて二十二日朝南大門驛發江原道春川に出張
▲堀原文一氏(水產技師)　歸省二週間の豫定にて亡父法要の爲め二十一日午後七時五十分南大門驛發汽車にて島根縣に歸鄕
▲上林敬次郎氏(山林課長)　金剛山に出張中の同氏は二十一日午後六時十分南大門驛著汽車にて歸任
▲李完用伯　廿一日朝溫泉へ
▲白水淡氏(軍參謀長)　廿日夜歸任
▲萩原憲兵大尉(扶餘分隊長)　二十日午後七時五十分南大門驛發列車にて赴任

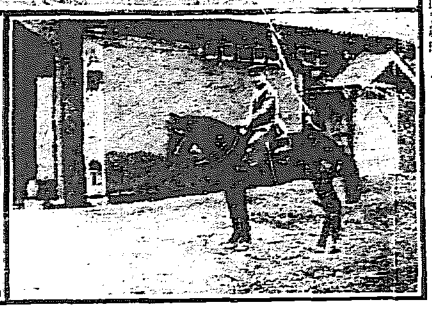
□白井將軍より

大塊翁　無佛居士　榻下
八月二十日夜　白居城

過般は早速賀電、續て月の御名句拜受感謝の至りに存候、歩だにも踏出候事野生の本分本望の至りに御座候も、攻手無き城の留守居とありては、多少御同情を希ふも無理ならずと自惚罷在候。乞叱正

月出たり眺し砦内
夏去ぬや留守かしこみて漸嘯し
城番の髀肉の歎や秋の風

□鄭家屯事件畫報（上、我救援隊四平街に着す 下右、鄭家屯守備隊官舍 下左、同守備隊）



世界語を學べ　今日の急務！
エスペラントの効力＝黒板文學博士の談

近頃日露親善の聲非常に高まり政治的に經濟的に各方面共接近しつゝあるは眞に此上なく悦ぶべき事である然し乍ら

◇兩國民間に　從來殆んど關却されてゐた兩國々語を新に修得しやうとするには非常な困難が横はつてゐる一體國家と國家とが如何に親善だと云つても兩國各々違つた國民が別在してる以上相一致すると云ふ樣な事は出來るものではない世人或は言ふ同文同種と、然し如何に同文同種でも國民は對立してゐる其處に行くと言語だ言語が一致してると云ふ事は

◇假令其所屬なる國家が違つてゐても親善の度は深いものがある例へば我々が同鄉人相寄つて他鄉の人には不可解な怪しげな國訛りで話し合ふ時其處には血が通ひ合つてる樣な親しみが湧くものだ之れを世界的に言へば外國人であつても同じ言語で話し合へると云ふ事丈けでさへも親しさが加はるものであるのに若し各々其國家を離れた寧ろ超國的言語で語り合ふ事が出來るとすれば

◇其間に湧く　親密さは到底他の窺知し得べからざるものがあるに違ひ無い之を社會運動的に言へば眞の平和運動は同じ言語を持つてこそ初めて到達し得るものであると云ひ度い一體日本人程國語を尊重しない國民は無い日本人は日本の國粹を八ケ間しく言ひ乍ら然も綴りの誤つた外國語の看板を平氣で掲げてゐる國民である絶對に國粹を保存しやうとならば

◇何で外國人に媚を呈する外國語の看板など書くのだらう。如何に戰爭に強くても言語の屬國とならば光榮は背を向けて去るであらう。國民がある以上國語は絶對に亡ぼす事は出來ない國語が鼎立してゐる以上意志疎通には各自各國語を修得し合ふより外に仕方はない此の煩鎖と困難と不經濟（勞力及び時間）を脱却する爲めに若し國際標準語が

◇一般に使用　される事となれば効果は蓋し甚大なるものがあるに相違ない是れ我輩のエスペラントを推薦奬勵する所以である。エスペラントは今から三十餘年前露國のワルソーに現住してゐるザメルホフと云ふ眼科の博士が發表したもので其發表した時ドクター、エスペラントと云ふ匿名を用ひた處に語源を發してゐるエスペラントと云のは『希望者』の意であるエスペラントは英佛獨伊各國語から取捨選擇され博士が高等學校時代から研究してたのを大學を出て二十八歳の時

◇發表した語型は最も伊太利語に近いと云ふべく一語一義一組主義で文法單簡、規則的で發音明確、僅かの語數で多くの意志を發表し得る。一體英佛獨伊各國語と云ふけれど概論すれば是れ總て一種の地方的なものである隨つて若し英佛獨伊等の地方語を學ばうとするにも此國際標語的エスペラントを心得てゐれば非常に入り易い譯であるU、F、Aは其標語で『青い星』は

◇其の表象で　ある元來エスペロと云ふのは希望と云ふ意味で其表象的歌もある

新しき理想出現して世界に臨み
總ての國民を一團として
青色旗の下、青色星の下
新しき平和を築き新しき世界を造らん

と云ふ意味の歌を譜に合せて合唱する（是れはザメルホフの作である）日本の教會丈けで會員が千餘名あり尚獨學でやつてる者も鮮くない

◇英國には百幾つの教會があるが世界中でどの位之を語り得る者があるかは統計が無い日本人が頻りに英語の研究をやつてる時に英國人が頻りにエスペラントを研究してると云ふのは皮肉ではないか。現在及び自分自身の爲めにと云ふならば利益が鮮いであらうが子孫の爲めに犧牲的に研究すれば蓋し大に益する時代が來るであらうエスペラントは例へば電話の樣なものだ皆が持つてれば是れ程便利なものは無いが持つてる者が少ければ効果亦乏しい。

汽船から要塞地撮影
英國の陸軍中尉神戸で捕はる

十一日下關を發し神戸港に入港したる英國汽船擧アルバン號にて神戸に上陸したる英國人エジターソン（三二）は本船が下關港通過の際私かに要塞地寫眞を二枚撮影せること同地陸署にて探知し神戸署に逮捕方打電したるより忽ち神戸憲兵隊の活動となり喜多軍曹が同人に就て取調べんとせしに逸早くも京都に逃走したれば更に同地に急行捜査したるも行方不明なれば向ほ神戸市中を警戒し居たるに十五日夜私に本船に歸りしより難なく檢事局に召喚し取調べたるに彼は陸軍中尉なる事判明し目下訊問中なりと（大阪）

松尾中尉　經過頗る良好
全癒するとも服役は覺束なし

鄭家屯事件にて重傷を負へる同地守備隊長松尾中尉は爾來同地兵營にありて專ら同隊附軍醫の治療を受けつゝあるが其功ありて經過頗る良好なれば此の上餘病を併發せざるに於ては程なく全癒するに至るべきも何分胸部の貫通銃傷の事なれば縱し全癒恢復するとも再び現役に堪ね得るや否やは疑はしき由

住友倉庫燒く　廿一日の深更
損害約百萬圓＝魚油の燒失

二十一日午前二時神戸市兵庫東出町二丁目住友倉庫及び兵庫倉庫の船館より出火火は魚油を收容せる住友倉庫に燃へ移り見る〳〵大火となり土藏六棟亞鉛葺一棟其の他都合十二棟を全燒し七時漸く鎭火せるが損害は約百萬圓以上に上りたり因に同倉庫は日本火災、東京明治火災、東京海上保險等に約二百五十萬圓の保險ありと（大阪特電）

虎疫　門司に復發生

門司市に於る虎疫は廿日朝眞性一名同夜疑似患者一名又復發生す（門司特電）

百隻擊沈　獨逸潜航艇の殊勳
總噸數廿六萬噸價格一億五千萬弗

アムステルダム來電に曰く、獨逸潜航艇長ウヱヤルタ、フォルストマンは聯合國の艦船合せて百隻を擊沈せし功に依り叙勳せられたり此の總噸數二十六萬噸價額合計一億五千萬弗に達すと（紐育電報）

膠州灣口の沈沒水雷艇引揚

膠州灣口閉塞の爲め爆沈せる獨逸水雷驅逐艦ローレン號（四五〇噸）は神戸市日下部會社の手に依つて引き揚げ二十日役山科商會汽船魁丸にて門司港に引き來り二十一日大阪に向け廻航する筈なり（門司特電）

大阪四十五名

大阪に於ける虎疫は益々蔓延し其發病數四十五名に及び中十六名死亡せり（大阪特電）

咸鏡南道に雹降る

咸鏡南道長津郡郡内面滄灘里外二面里に八月二日午後三時頃より約卅分間降雹ありて蕎麥胡麻煙草等約二町二反步金額二百九十餘圓の損害ありたりと（元山電報）

強盜に殺さる

大阪天滿の質商堀平次郎方へ二十日夜強盜押入り平次郎の實弟重助（三七）を即死せしめ丁稚勝造（一七）に重傷を負はして逃走したるが未だ捕に就かず（大阪特電）

仁川虎疫豫防

仁川署にては大阪神戸其他仁川港と密接の關係ある諸港に虎疫發生するに至りたれば一兩日前より水上檢疫は從來の望診を觸診に改め一方陸上にては汽車檢疫を開始せり又近々臨時清潔法を執行する筈なるが差當り宿屋、料理屋、飲食店、劇場、寄席、工場、市場等衆人の出入頻繁なる場所に對し二十一日より便所其他不潔場所に消毒藥の散布を實行せしめたり

◎仁川臨時清潔法　仁川署にては虎疫豫防の目的を以て來る二十五六日頃より一般に臨時清潔法を執行する筈なりと

玄關口から

住所不定東萊男（三二）は窃盜罪に依り大正四年中懲役一年の處分を受け出獄後京城市中を徘徊し八月十五日午後三時頃南大門通五丁目南大門旅館の玄關口にて宿泊人望月某の編上靴一足を擢つ逃ひ之を携へて通行中本町署の巡査に逮捕さる

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

ドイ一口噺

○甲『支那で日本人が舌を切られたとよ』乙『其奴は大方前生は鰯を舐めた奢だつたらう』（一等）　京城和泉町七　T　k　生

▲食器者『……人は睡醒の動物ですからね』商判貧『勤足の動物…イナゴくです』　水原　蓮金　五螺

▲甲『長時のコレラが朝鮮迄來るかネー』乙『そりや君承れら（コレラ）』　京城　松岡　吞天

▲田舍者『都の人は物覺がよい二年前に買物に行つた店へ今度も行つたら有難うと云つた』　良致院　野宮　俊英

▲甲『鄭家屯で大戰爭が始るそうだ』乙『ナーニあれは支那の空騷ぎしや』　牙山　鐵田　乔日

■課題及び募集規定は欄外にあり

夏知らぬ　東萊溫泉
涼しい流＝綠の森＝納涼電車＝鮎の味

電車は幾度も停電で立往生をしたがそれでも釜山から二時間半ばかりで東萊溫泉場へ著いた、此の前來た時より變はつて居るのは

▲停留所と　溫泉との間の危なつかしい土橋が二つとも立派なうして頑丈な石橋に化つて居て綺麗な東萊川の水が石橋の下の岩壁を遊つて流れて居るのと溫泉場の近傍一面に夏樹立が茂つて涼しい蟬時雨が森の中に充ちて居る、百日紅や槿花が青葉の間に咲いて居る廣い植込みの間を通り拔けて蓬萊館へ這入つた

▲入浴客が　非常に澤山で部屋は一杯だつたが恰度涼しい離れ座敷が一つ明いて居ると云ふのでK君と僕とは其處へ入る事に成つた、電車では若松釜山府尹と一緒であつた府尹は家族全部が東萊に避暑して居るので夏の內は此處から時々釜山の方へ出て行くのだそうだ三十分毎に電車も發し電話もあるから些しの不便も感じないと云ふ、その上

▲溫泉附屬　の貸屋も貸間も有るから家族生活をするのに少しの不便もないとの事である府尹は蓬萊館前の家を借りて居るのだ『どうだこんなに混み合つても浴槽に入れるか』と聞くと『大丈夫ですよ今度は湯槽が大きく成りましたから』と女中が案內して呉れる以前外に在つた一般の浴場を改築して內湯に取り入れたのだ成る程非常に廣い浴客も澤山に這入つて居た。浴後

▲一と涼み　しながら女中に『近來は毎日斯んなに賑かなのか』と尋ねると『ハア此の頃は海雲臺の歸りに來られる方と海雲臺へ行きがけのお客さんとで大變に賑はひます此方が飽きますと海雲臺へ行つて來るなんて云つて出かけになります』と云ふ如何にも兩方を遊んで廻つて居つたら定めし愉快もあらうし飽きも

▲來まいと　思つた、K君が『お多さんは今日はどうして居る』と尋ねると『居りますよ呼びませうか』と云つて呼んで來る、此の女は蓬萊館の娘分の秘藏つ子だそうだ血色の惡い活き〳〵した處はないが道具立の整つた顏をして居るK君はお多さんを天女のやうに考へて居るらしい

▲山の麓で　涼しい流や綠の森や遊ぶのには好い處である玉突場裏口から下りて栽樹の中を拔けて溫泉場を一と廻りする狹い處ながらもある蓬萊燒の竈元などもある少し遠く行けば名刹梵魚寺にも遊べる溫泉の直ぐ裏手は金井山と云ふ山で山上には金井城の趾がある城は約二千年前に日本が任那を援けて新羅を攻むる時此の城を築いたのだと云ふが今も城趾歷然と殘存し當時の雄圖を想像するに餘あるものがある、溫泉の前面には

▲東萊城が　在る東萊城は壬辰の役に小西行長が第一番に攻め陷した城である當時の戰話にも哀れにも勇ましい物語を止めて居る、蓬萊館の前には朝鮮瓦斯電氣會社で新らしく大浴場の建築に取掛つて居る會社では毎日午後五時から納涼電車を運轉して釜山東萊間を

▲往復五割　の廿錢で乘せて居るので夕刻からの入浴客が甚だしく多い溫泉のすぐ東を流るゝ東萊川の上流では鮎が取れるから浴後鮎打ちや釣に出かけて行く人も少くない溫泉から梵魚寺と海雲臺との間には馬車も通ふ、輕便鐵道は茲を起點として大邱の方へ連絡するのであるそうだ

▲金井山城　より吹き颪す萬斛の涼風は青玉の簾を動かして山百合の香が涼しく窓へ絕ゐず流れて來る（長城）

⊙溺死五件　平南大同郡古平面上端里五統七戶金吉女（六）は十二日[illegible]す次に平壤府新陽里俗商李基化（二七）は十五日午後一時頃同府新林洞普通江に於て水浴中心臟痲痺を起して[illegible]時頃住宅附近の砂金採掘跡溜池に落ち溺死せり[illegible]く捜索して引揚げたりと（長春）

⊙巡警賊を働く　長春[illegible]

⊙連絡船上陸客　廿日午前入[illegible]　大山[illegible]同、[illegible]山本丁吉、岩井本[illegible]、大塚傳藏、同[illegible]、同弘夫、水井幸太郎、內田周[illegible]、宮本てい子、同[illegible]森本重太郎、田中匡通、飛松[illegible]、すみ、西山きい、細川正七、久保田健就、久保田[illegible]

讀者文藝課題及び募集規程

■課題　[illegible]

■募集規程　▲用紙は端書又は同樣の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一[illegible]

天氣　時後曇り　▲八月廿二日[illegible]

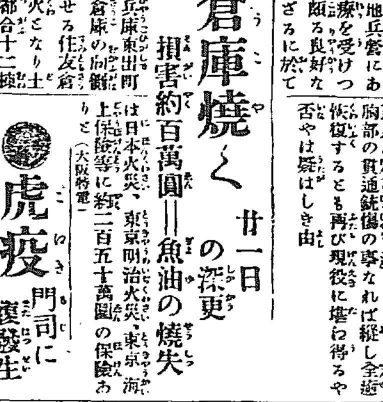
朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著
改訂朝鮮不動產登記　增補朝鮮商業登記　申請書式並心得
再版
▲紙數四百八十頁　代價金壹圓郵稅拾錢
本書は不動產登記の部には土地調査に關する事項及不動產登記法に依る申請書式、官公署の囑託書式等併て百二十餘件並に印鑑屆、委任狀、契約書、明細書、保證書、閱覽申請（京城府所定）委任狀、登記に關する決議書、保證書類等を掲げ加之登記の末尾に之を揭げ、商業登記の部には商號、未成年者、妻、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀同人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり
賣捌元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

移轉御披露
今般左記の處へ移轉仕り候に付從來同樣御引立奉願上候
京城太平通り二丁目
各種營業書、口繪記念寫眞帖發行　南川コロタイプ製版所

第二回開講　生花講義錄
師の口授にて手づから教ゆると異ならぬ短期速成最新式通信教授古來の秘傳口傳も悉く明かにす規則見本送料郵券二錢送れ●東京四谷須賀町●日本華道會

移轉御披露
弊店儀今般業務擴張の爲左記の處へ移轉仕り候間此段謹告候也
大正五年八月　日
京城太平通二丁目五十八番地　伊藤商行　電話二八六九番
本店　上海黃浦路卅一號　伊藤商行

優等清酒



福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

●開店廣告●
建築用材一切（鴨綠江產 內地產）　平壤本町　和柴商店　電話一五番
土木建築請負　平壤本町　和田組　電話一五番

最上醬油
京城本町三丁目　田中支店釀造　電話七六四番

子供相撲は理想的の運動遊戯
體育上精神上大に奬勵すべきだが
それにはいろ／＼の注文がある

七月に東京相撲が來て以來京城人士の相撲熱は大分高くなつて、それが先づ子供相撲に依つて表象された、頭日來から市中旭町、大和町等三四箇所に於て

▽連日連夜 相撲が催ふされてゐる、子供の遊戯としての相撲は殆ど理想的である運動上からは勿論の事延いて快活な氣性を養ふ事も出來れば兒童の心から獨立心を引出す事も出來る尤も數多い遊戯の中にはあるが相撲の如きはその意味に於ける最も完全なもので、これ許はどんなわが儘な子供でも人の助力を仰ぐ事は出來ない勝も負るも自分の心、自分の力一つである是が獨立心を養ふと云ふ上から言つても外の多くの運動に比較して相撲は全身の筋肉を働かす即ち全身の運動である然し相撲は

▽危險では ないかと心配する人もあるが之れは相當の準備と警告さへ行屆かば決して憂ふべき事でない、よし又疊なり砂盛なり適當なものを敷いた上で相撲を取つて手や足を少し位すりむいたからとて一々それを氣にしてゐては運動なるものは何も出來ない、相撲は男の子供にとつて有益なもの學校家庭においても奬勵するは體育上非常にいゝ事と思ふしかし茲に一つ注意したい事は折角の好遊戯を奬勵するために兒童に不知不識の間に惡感化を與へない事である、京城の子供相撲は概ね夜に行はれる所によつては十時頃に切上げるのもあるが中には十一時過るまでも角力を取られてゐる

▽十二時近 まで角力を取られるまでも見物してゐる子供がある暑中休暇中とは言へ斯くの如く夜更しをさせるのは宜しくない、それから傍からワイ／＼騷がぬ事である、大人が自分の興味の上から子供を煽て上げ囃し立て犬の喧嘩でも見る樣な積りで彌次るのは禁物である、それに賞品を一々與へる事なども絶對に惡い、殊に最負力士だとか言つて個人同志に物品を贈つたりするのも可けない、尚ほ亦大人の世話燒が

▽面白半分 に一切合財相撲の式に倣ひ、拍太鼓を打つたり、厄態もない名前をつけたり取組番附を出したり、甚だしきは化粧褌を著けさしたりする事は滑稽過ぎて片腹痛い次第であると思ふ、更に心得の無いものは熱に浮かされて藝妓の如きものを引連れて聲援に又見物に出掛けるものがあるとか、之れが事實ならば洵に嘆はしい事だと思ふ、子供角力などは前記の通り體育の養成獨立精神の養成等になるので敢へて

▽相撲稼業 の豫備教育を施すのではないから一から十まで相撲道の約束を眞似る必要はないと思ふのである、そして出來得るならば一時的でなく冬になれば屋內土俵を作る事にでもして無邪氣な活潑な子供相撲を永續させたいものである

行儀が良くなる 少女の謠
思ふまゝに謠はせます
謠は健全な家庭の娛樂

◇娛樂機關に乏しい京城の樣な所では此の頃一般に流行してゐる謠曲又は仕舞の如きものは家庭に於ける健全なる娛樂として大に歡迎すべきものであらうと思ひます

◇二十日松翠樓に開かれた喜多流の婦人謠曲會は此の意味から結構な催しであると言はねばなりません、此の會には大分名流の婦人令嬢の出席もあつて公開された皆樣のお手並みを大へん面白く拜聽する事が出來たのでありました

◇會員の方のお話を伺ふと、內地には謠曲趣味の方の組織した、婦人會や少女會などが澤山あつて中々盛んですが京城には餘り見受けない樣です

◇そして喜多會の京城支部が率先して婦人會を拵らへたのですが之れに刺戟されて觀世會などでも婦人會を作る計畫があるさうです、唯困るのは公會をする場合に適當な場所が無い事ですが之れが殘念です

◇喜多會の婦人會には十五六の子供も出したのですが何しろ座敷ばかりで謠つてゐるものが始めて公開の席に出たのでドギマギしたやうですがそれでも大した過まちも無く出來ました

◇子供に斯ういふ事をやらせる事に就いてはいろ／＼議論もありませうが、強いて型に嵌めて敎へ込む樣な事をせず、唯子供達の自由に任して置けば些しも害は無いと思ひます

◇それに謠ひを謠ふ時は端然と姿勢を正してゐるのが原則になつて居りますので自然平生の起居動作が正しくなる樣です、こんなわけで女の子供などには至極いゝ結果を與へる事と思ひます

●膳先生の歡迎會

膳高等法院判事の令姉に當る人で大阪の江戸堀幼稚園長をして居られる膳たけ子女史の入京されたのを機とし南山幼稚園の大和田先生が發起となり廿一日午後三時から膳先生の歡迎を兼ねた茶話會があつていろ／＼面白い有益なお話が交換されたさうです

●女子技藝生徒募集

京城技藝學校にては中等夜學科本科共に若干名の補缺生徒募集を爲すべく詳細は直接同校に照會すべしと

●仁川の琵琶大會

村上桂林君を會主とせる仁川和樂會にては來る二十二日午後四時より仁川俱樂部に於て琵琶大會を催す由

●日蓮主義講演

仁川妙覺寺にては廿一日二十二日の兩日午後八時より日蓮宗大學卒業生酒井敎師小林護誡師祝田秀師等を講師とし日蓮主義の大講演會を催す由

●井上技藝學校長歸校

暑中休暇を利用して內地へ旅行中なりし京城女子技藝學校長井上安二氏は二十日午後九時の列車にて歸京せり

神社とお寺と敎會

○西本願寺（若草町） 二十一日午前八時より月曜講演あり講師は三岡、東栄の兩氏なり

○龍山淨土宗敎會所（山下町） 二十四日午前九時より日曜學校を開始する由、同午後八時より說敎例法ありて大町、田中兩氏の講話あり

○本能寺（水標橋通） 布敎所明二十二日定例布敎講題は加藤講師の法華經講義及び「日蓮上人立敎開宗の光譽」の說敎ある筈

天ぷら その日

○煎豆腐 豆腐を鍋の中に入れ手にて細かに揉み潰し火に掛けて好く乾燥し日光の上に布巾を敷き其上にあげて好く水氣を絞り鍋に胡麻油を少し入れ好くお沸しなしたところに豆腐を入れ杓子にてかきまはしながら好く煎り別に淡味に煮た鹽元鯛、推茸等の刻んだのを加へ更に好く混ぜながら溶玉子を好くかきまはしたのを萬遍なく入れてから／＼に煎りあげて鍋をおろす

番茶のあとこ

近頃入京して膳判事のお宅に居られる大阪江戸堀幼稚園長の膳たけ子女史は園兒に與へる手藝品に松葉や銀杏の葉の貨物を用ひて遊ぶ事を案出された有名な方ださうです▲廿日の婦人謠曲會で骨我事務官の令嬢の鏡子さんが土蜘蛛の連吟で太刀持を勤められましたが▲まだやつと今年六歳で片假名すらも解しない鏡子さんが自分の持場々々を現はれて間違ひなく謠ひ終つたのには一座の者はアッと驚きました▲聞けば鏡子さんは土蜘蛛の文句は悉く暗誦してゐるのださうです▲そして土蜘蛛の土の字だけは形丈けで記憶してゐて之れが土蜘蛛だと言つてもそれはちがふと承知しないさうです

商況

東京株式特電

二十一日 前場寄付 大引

	前場寄付	大引
日本郵船	[illegible]	[illegible]
京城電氣	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同 新	[illegible]	[illegible]
日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株第一	[illegible]	[illegible]
東株第二	[illegible]	[illegible]
東新第二	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

二十一日 現物値段（前日との比較）

[illegible]

公債直取引特電

二十一日 値段（前日との比較）

甲號五分	[illegible]
五分利	[illegible]
四分	[illegible]
四分半	[illegible]

深川在米特電

二十一日現在高

內地米	[illegible]
鮮米	[illegible]
外米	[illegible]

東京期米特電

二十一日 前場 後場

寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]

大阪株式特電

二十一日 前場止値 後場

	前場止値	後場
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
同 上 新	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
神戸電燈	[illegible]	[illegible]
宇治川水	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十一日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十一日前場

	前場	後場
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

二十一日前場 中限 先限 [illegible]

雜報

寄付 高値 安値 止め [illegible]

綿糸各期の豪扱

休日明けの大阪綿糸現物は手筈十六手百四十圓十手百二十七圓と更に [illegible]

圓の大關門を拔き

[illegible]

各期揃ふ五十

[illegible]

理想値を實現

[illegible]

內地製粉市況

[illegible]

●油類は好調

[illegible]

白絞及胡麻油

如き漸次高氣配 [illegible]

●寒天昆布入荷

座の商況 九圓內外 [illegible]

●千鰯は割高

乾燥頗る不良 百斤二十五圓處 [illegible]

●工業藥は活躍

[illegible]

●精白ヂリ安

錢安の十五圓七十錢處 更に一、二十 [illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は保合 其後四百十叺の [illegible]

利 仲買店

仁川米豆取所仲買人 電話二六二五 [illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場

二十日 [illegible]

仁川期米

二十一日前場 大阪天候曇

天前寄十五圓八十九錢 七錢高の入電二節九十錢 丁度の移 [illegible]

安値の儘保合

▲二十一日前場 [illegible]

市場雜聞

▲依然保合

[illegible]

▲前場の手振

商内賣り聲勝 [illegible]

▲マの大賣物

[illegible]

▲イの買物

[illegible]

三巴仲買店

[illegible]

▲尚保合乎

大厄日も玆目睫の間に迫り 本年稻作の豐凶此間に依つて決す

[illegible]

目先期米界

路國軍需米輸出 [illegible]

稍冷氣に過

[illegible]

軟派 徐石は今後尚増大

[illegible]

硬派

[illegible]

仁川米豆取引所

二十一日の十月限

前場平均値段

寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]
出來高	[illegible]

賣買取組高

八月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十二月限	[illegible]

北鮮だより

[illegible]

▲東洋紡績株

[illegible]

▲東洋製糖株

[illegible]

小賣白米

現金賣 一等白米 [illegible]

白米標準値

十六圓

演藝案內

大正館

櫻井町 電話八七三 [illegible]

御成座

[illegible]

壽座

京城壽町 電話九七八番 [illegible]

黃金館

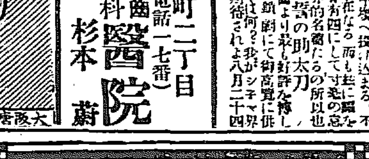
電話二八五二（階上） 二六三七（階下） [illegible]

京城龍山元町二丁目 衛民團前（電話一七番）
杉本齒科醫院
齒科醫學士 杉本蔚

池坊昇級披露
京城永樂町二丁目四十四番地
大日本朝鮮華督 後藤秀庵
龍山漢江通り
大日本朝鮮總會頭職 今井秀甫
京城大和町二丁目八十三番地
華道家元准總會教授職 田中汀洲

大阪唐物町四丁目 坂田商店

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城荒金町 電話四二〇番 五八一四番
振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候



安住かとりせん香
登録商標
舍大博覽會金牌受領
一度使へば止められぬ トハ本品愛用家ノ言
羽が生へて飛ぶ大人氣 トハ本品販賣者ノ言
例年の通り景品券附 拾函買へば壹函無代進呈
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區曾根崎町 安住大藥房

醇良無双清酒
無害衛生 品質無双
首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール ボッポロビール 醬油と鰹甲萬 各種シトロン 三矢布引サイダー各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黃金町（電話一一七一番）

恩給年金
一般退隱料
特別月利立替壹圓
大阪道頓堀大黑橋北詰 湊屋兩替店
京城南山町本願寺下 湊屋代理店

印刷
諸印刷品御調製の節は一應野堂に御照會あれ
東京京橋中橋電車停留場前
大津大榮堂商會
電話本局二二五四番 振替東京三三六〇三番

內科 小兒科
村上病院
京城永樂町一丁目
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 醫學士 松下三 [illegible]
電話六二三番

宮本武藏

第百三十六回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

長東傳八郎が女の泣聲を聞て 傳『一體何者でござる 如『イヤ那れは先月から召抱へたお梅といふ女中だ、 傳『ハヽア 如『甚た貴公の前で面目ない話だが拙者が口說いたのだ、 傳『什麼も相變らず貴方は好色でござるな 如『庭が更に言事を肯かぬ、今日も酒の上で拙者が少し申した事がある、スルト拙者に惡口を言ふ仕末、可愛さ餘つて惡さが百倍といふ譬喩、餘り強情な奴であるから折檻して一間へ打込んである 傳『其れは可愛さうだ、女なぞといふものは手荒い事をしては駄目だ、言事を肯くものも肯かなくなる、何なら拙者が一寸代理に說伏して差上げやうか、 如『イヤ貴公は危險だから不可ね、代理に說得するのは宜いが若し貴公が變な事をされると困る 傳『アハヽヽ大丈夫、そんな氣遣はないから御安心なさい』と長東傳八郎一間へ來て見ると締切つた座敷の中に十七八になる娘が泣伏して居ります、傳八郎が傍へ來て 傳『お梅といふのはお前か、拙者は何だ長東傳八郎といふ者でな別段氣遣ひなものではない、決して心配するに及ばん、サア泣いて居ては不可ね、顏を見せなさい』と肩に手を懸けて引起して見ると顏を眞紅にして泣いて居りますがゾツとするほどの美人、長東傳八郎ウムと唸つた『什麼も素晴しい女だ、成程親志の口說くのも尤だ、サア泣いてばかり居ずと機嫌を直しなさい、一體お前は何所の生れだ、女中奉公なぞするやうな女ではない、宜所の娘だらう 女『ハイ 傳『サア〳〵其麼に泣いて居ると女振が惡るくなる、幾歲になるな十八か 梅『十七でございます 傳『十七か美い縹緻だな、親玉なんぞが口說いたつて言事を肯かないのも尤もだ、亦誰だつて親玉の顏色を一目見りやア嚇かないものはありやアしない、色は眞黑で、疱瘡ツ面で、鰐口で金壺眼で、出臍で鳩胸で、甲高で、脂足で、何處といつて取得のない男だ、那れで武藝でも出來なからうものなら、犬だつて喰やアしまい、大體女なんぞ什麼にかしやうといふのが了簡違ひだ……如『ヲイ〳〵長東 傳『まア何だ拙者なぞは色は黑いけれども苦み走つて中肉中背、親玉のやうに骨ッおやアない、何處か優味した所があつて樣子の好い方だ此所の親玉なんぞは什麼慾目で見ても人間とは見へんな、まア魚に近い方だ、魚でも鰹魚のやうな氣の利いた方ちやアない、鯰か鱧魚だ……如『長東 傳『ア、吃驚したイヤ之れは先生 如『先生ちやアない好い加減にしなさい、エ、先前から默つて聞て居りやア口から出放題に種々な事を申す、何だ瘡痕ツ面だの出臍だの、甲高だの、武藝が出來るから宜いが何にも出來なかつたら犬も喰ふまいとは何だい 傳『お聞なすつたかい 如『皆んな聞いた、其れも宜いが什麼見ても人間ちやアない、魚に近い魚でも鰹魚のやうな氣の利いた魚ちやアない鯰か鱧魚だと言つたらう、武士たるものを鯰とは何だ 傳『アハヽヽ、什麼も聞へやうとは思はなかつた、つい其冗談にいつたのだが 如『冗談だつて餘まり酷い、まア貴公なんぞに代理は頼めないから止して吳れ 傳『代理は之れからする所て 如『何でも宜いから止めにする、酷い男もあつたもんだ面の棚下ろし〳〵……〳〵其麼にしてア……ポン〳〵怒つた、長東傳八郎は奧へ往つて一杯飮んで寐て了ふ、其晩お梅の所へツツと逍つて來たのは藤島新〳〵 新『お梅さん、先日からお前さんに聞かう〳〵と思つて居た事がある、お前さんは一體何處の何といふ人の娘だ 梅『ハイ段々御親切にお聞は下さいまして有難うございます、妾は元神田、白壁町に染物屋をして居りました根本儀兵衛といふ者の娘でございますが一昨年火事で燒出されまして、其れから稼業も出來ませず父と二人で貧しい生活を致して居りました所、不圖惡い者に欺瞞されまして吉原の山本屋へ勤奉公へ遣られました、一年ばかり辛抱して居りますと中井上權左衛門といふ浪人衆に引かされまして其れから先月此方へ參るやうになりました不運な身の上でございます 新『其れは氣の毒千萬だな』

八月廿三日九星　舊七月廿五日壬辰　本命二黑坤戌先勝

▲二黑 親切を施して無になる事有日 新事見合す方は吉 暗劍坤 ▲三碧 從て氣味の事有日 新事手控え萬事愼みに妨なし ▲四綠 平運の日物の準備を爲すは吉 新事手控萬事は吉 ▲五黃 付て新事手控え萬事愼みて吉 ▲六白 有爲の日 轉居旅行求職 名弘入 ▲七赤 高尙の日 門出商賣 縁談 婚禮 新築等 萬吉 ▲八白 酋長き事多き日 新事手控 銀行商賣 萬吉 ▲九紫 大望屆日 轉居旅行出 諸事は吉 萬叫時にせらるべし ▲一白 獅子の狂ふ事有日注意 新事手控 萬事は吉 一切の事慎せのよし

皮膚科 泌尿器科 一般 花柳病

院長 安部修三

京城本町二丁目 電話一六〇

安部醫院

胃腸と腦病を癒す 胃腸蠕動器

十ヶ間て胃滯を除き此方で便秘を通じ腦を爽快ならしむ說明書二錢 東京市麻布區市兵衛町二 奧居製作所 代理販賣人募集 振替參六〇弍番

りん病

消渇で困る方 多年の慢性も治癒す 自宅にて人知れず安全秘密に全治させ良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ 其良藥を自宅療法の詳細を報す 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

小兒良藥 樋屋奇應丸

專治 小兒諸症 等は新聞廣告の如し 到る處の藥店に有り 大阪天滿 樋屋奇應丸本舖

內科 小兒科 花柳病 眼科

山田醫院 本町二丁目四十六 電話一八八〇

呼吸器病專門 胃腸病專門 山田萬作

（入院隨時） 尾形周太郎

ナイスの五大特長 タッタ二十分で染まる、永く保ち褪ず禿げず、襟や枕に汚點つかず、却て毛の擁を堅め、用方至極手輕なり。

價 大瓶價七十錢 小瓶價四十錢 男子用價三十錢

自然の黑髮のやうにキット染る!!

赤毛染 ブランガ ナイス

發賣 大阪 東京 丹平商會

衛生必攜品 ルーデサック

A十個四十錢 一個六十錢變形 廿五錢女用一個八十錢廿個以上 引郵券代用一割增外に送料一割 京城黃金町三振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

MITSUWA QUINA-IRON WINE.

Mitsuwa Quina-Iron wine is made after a thorough scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: contains the two powerful specifics; Quina and Iron in exact doses dissolved in a wine of matchless quality: is very delicious, fragrant, invigorating, and perfectly absorptive and assimilative.

As a tonic for persons of weak constitution or in diseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

馥郁たる芳香を有する純良化粧用水石鹼發賣

◎ミツワ水石鹼 定價金五拾錢

技師 工學士 藤野太治郎

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹼には刺戟甚しく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、此水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て製造せられ、洗滌に際して適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、殊に此◎ミツワ水石鹼は鑛泉溫泉冷泉等に用ふるも、能く洗滌の目的を達するが故に、皮脂の分泌夥多にして而かも皮膚粗糙なる本邦人の化粧用石鹼として、皮膚毛髮の洗滌に缺く可からざる理想的逸品なり。

（現品實寫圖）

ミツワ石鹼　◎　ミツワ家庭藥

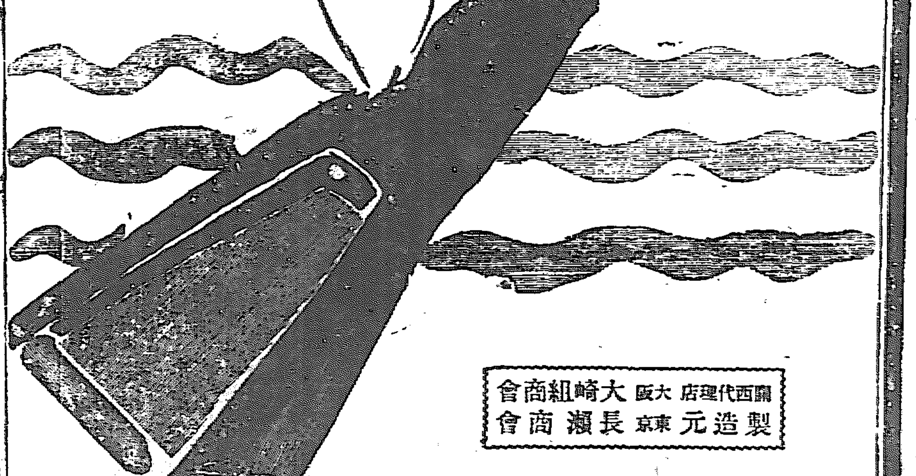
東京市日本橋區橋町四丁目　振替東京七一〇番　丸見屋商店　營業部電話浪花三〇四八四・四九四・〇五四番

品質本位

花王石鹼の

純良なる品質を愛して、常用に遊ばす方は、自然に皮膚の色澤を增進して絕えず……

淸々しい氣分が漾つて居ます。



關西代理店 大阪 大崎組商會
製造元 東京 長瀨商會

京城日報　第三版

廿二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目　印刷人 小田三之介

露紙の日露貿易將來觀

近着露國商工新報は日露貿易に關して論ずる所あり玆に抄譯して參考資料に供すべし

日本に於ける日露貿易關係者は專ら說を爲して曰はく、露國は或種の原料及び未製品に富めるを以て、此等原料及び未製品を日本に輸入し、之に加工又は精製して自家の用に供するのみならず、進むで精製品として之を日本より廣く海外に輸出することを得可しと。然れども斯の如きは將來日露貿易の基礎とす可き有力なる餘とはなすことを得ず、假に此說の如く露國が好むで自己の原料及び未製品を日本に供給するとも、日本は永く此供給を甘んじ自己の製造工業に要する原料を專ら外國に仰ぎ、常に被供給者たるの地位に滿足すべしと思はれず。故に此日本に原料輸入の議論としては兎に角、實際上尙ほ考慮す可き餘地あるものとす。

從來原料及び未製品を日本へ輸入することは當業者の手掛けざる或種の物品を除き、多くは輸入稅其他の點に於て何等の支障困難を感じたることなく、原料品貿易は極めて容易なれども、然かも露日間貿易の將來に於て最も有要の地位を占む可きものは原料に非ずして製造工藝品なり。而して日露通商協約なるものゝ主眼としては片貿易にあらざる相互貿易均等主義を實行せざる可からず、故に彼我輸出入貿易の項目に就きては啻に理論上よりのみならず、實際上其市場實行等慎重なる研究を要す。平時吾露國製綿織布は、日本に於て良好なる賣口を發見し得るに拘らず、目下我國は自己の特產品たる麻製織物に至る迄日本に於て購入するの狀態なり。日本は自己の織物業に要する原綿は殆ど悉く外國より供給を受く。然かも吾露國は目下計畫中の土耳其斯担に於ける棉花栽培にして近き將來に於て發達するの曉には、自己の特產原料を以て自己の織物業界に供給するに至るならむ。現今行はれつゝある日本品購入の經驗に依りて見るに、日本は反物及び金屬鑄物類に於て到底吾露國と比肩することは能はずと雖も、我は陶器品の供給を日本に仰がざる可からず。又化學工業製品製造に對しては、其原料供給の點に於て我は特種の利便を有す。又洋包用紙其他高價なる上等紙類に至りては、我より之を日本へ供給することを得。目下露國に於ける編織物（メリヤス類）の供給を悉く日本より仰ぎつゝあるは、蓋し露國が不用意にして假令手數として成りとも斯業を獎勵し、其發達を計らざりしに基因す。此が爲め日本をして所謂吾全露國に對し靴下、シャツ、メリヤス類を供給せしむるに至らしめたり。今や現に日本より露國に輸入せられつゝある物品にして、永く其現狀を持續す可きもの勿論多々あるべしと雖も、然も吾露國工業界にして少しく覺醒奮發せば、他國よりの供給を仰がず自國製品を以て自家の需用に應じて尙ほ餘力あるに至るべき亦論を俟たざる也

（記者曰く原文論旨徹底せざる廉あれども要するに將來の日露貿易は目下日本にて賄ひ居る精製品を露國より供給し露國より原料を輸出せしめて日露貿易は須らく兩國協同の交易によりて實行せざる可からず露國の製造工業は決して他國に及ばざるものに非ざることを述べたりと思惟せらる）

北滿の新鐵道（中）

▽計畫の沿革　今此地方に於ける鐵道敷設計畫の沿革を尋ぬるに曾て哈爾賓、愛琿間の鐵道に就ては黑龍江省（齊々哈爾）に於ける支那人有力者並に愛琿、墨爾根、哈爾賓其他北滿洲の諸商人に依り發起せられたり、而して一九一〇年四月黑龍江省の會議に於て哈爾賓よりタンカンに至る約二百十ヶ米間の具體的計畫案起草せられたるも、此計畫は後日齊々哈爾總督の爲め修正の上採用せられたり、其計畫は先づ資金三百萬兩の有限責任會社を組織し、之を其地方の商人又は其他の有力者より募集すべく、之れが爲めに總督は諸方に代表者を出張せしめ、同時に一九一一年會社創立に關する目論見書を公表し、會社名を濱哈鐵道會社と稱せり。然かも之れに必要なる技師までも任命せられたるに拘らず資金應募者以外に少く、北京政府が無利子にて百萬兩の補助を保證せし以來一九一二年末迄の申込額僅に十萬兩を超ゆる能はざるの不況を呈したり。

一九一三年に至り此計畫再燃して特に哈爾賓地方會議の議題となり、中には頗る熱心に其敷設を主張せる議員もあり、八方力を盡して之が成立に苦心し、重要なる二點を提げて力說せり、其第一點は此際從來自身にて建設利權を收め置けば後日外國人の要求ある場合に際しても之を拒絕するに極めて便宜なること、而して第二點としては近來頻々として被害ある紅胡子の跳梁を禦制し且つ北滿に於ける馬賊事件に託して支那政府に事を構へんとする外國人に其機會を與へざらしむと云ふにあり。

一九一〇年の計畫は狹軌式に則りしが今回の計畫は現今支那に於て一般に行はるゝ標準軌制（四呎八吋半）に據ることゝなせり、然れども之に對する充分なる資金は依然として其の出所を見出すを得ず、從て具體的成案としては先づ哈爾賓より呼蘭城に至る約二十ヶ米を第一期線となし、第二期線としては同所より黑龍府まで約七十五ヶ米を建設せんとするにあり、此成案に對する資本は約七百萬弗と推定せられ、大體は地方より募集するを以て二百萬兩丈けは北京政府の補助を仰がんとする希望なりしが支那政府は同地方人士の應募を危ぶみ頗る冷淡なる態度を示せり。爾後約二年間は何等事件の進捗を見ざりき、仍て露亞銀行は玆に見る所あり、今次此資金全部の引受を提言し北京に於ける同行代表者エル、デ、ホイヤー氏をして始めて一九一四年八月に交通部大臣と會見せしめ以後數次折衝の結果本年三月二十七日遂に這般の新借款契約に署名するに至らしめたるものとす。

▽實質的效果　本鐵道は露國の東亞政策に重要なる基礎を與ふるは言を俟たざるが、更に東淸鐵道の拓殖し能はざりし粗放の沃野を開發する實質的效果極て大なるや必せり。蓋し此の線路無しとせば北滿一帶は荒涼たる未耕の曠原として殘さるべし。在來松花江及び之に合流するフラン河附近一帶の地は俗にホルロスと稱する蒙古族の居住地にして其北部附近にはオロッ族あり、更に進んで墨爾根附近にはダウルス族の跋扈する所多かりき、今日も猶此等の種族は小興安嶺の谿谷に沿うて散在するを見る而して更に北に進んで黑龍江畔に達すれば唯滿洲八旗の小數植民地殘存するあるのみ。之より先東淸鐵道の敷設に際しては其工夫及び苦力の多くは支那內地殊に山東、直隸の[illegible]以て之に充て、[illegible]多額の賃銀を給與して[illegible]に移住せしめたり、之が爲め[illegible]來せし地方は野蠻域、教化府及び[illegible]倫府等を以て最となす、斯くして山東移民は蒙古族を驅逐して西の方バルガ附近に退去せしめ之と共に松花江及びハラン河に洗はれたる未耕の沃野は山東流民の集約農民の手により開發さるゝ事となれり

郵便貯金雜話（三）

矢野通信課長談

(6)貯金制度は死藏されたる金錢を生產用に供せしむ　數千金若くは數萬の金錢は之れを死藏するもの少なしと雖も數圓又は數十錢なるときは之れを死藏するもの頗る多かるべし而して一二人の死藏千萬人にして何れも小額の金錢を死藏するときは所謂一滴の水も集合して大海となるが如く其額多大となるべきを以て此額を生產の用に供せざるときは經濟上の不利多大なりと云ふべし然るに郵便貯金制度は多數の小額貯金者の死藏金を預入せしむるを以て其額多大となり各種の生產の用に供せしめ得るのみならず貯金者の如何には國家の信用を以て極めて安全に且つ有利なる保管をなすを以て自他共に利する所多しと云ふべし米國にては郵便貯金制度開始の爲め從來私人の嚢中に藏せられ且つ悉も生產の用に供せられざりし金錢をして郵便貯金となさしめたる金額は同制度開始後數年にして既に數千圓に達せりと云ふ

(7)郵貯通帳は一種の信用狀として利用し得べし　旅行中差當り必要なき現金は成るべく郵便貯金又は郵便爲替券となし或は信用狀をなして携帶するを以て安全にして利便なりとす但し郵便爲替となすときは爲替料金を要する外拂渡局を特定せざるべからざる不便あり又銀行の信用狀なるときは取引銀行の數は郵便局所數の如く多からざるを以て僻地の旅行には不便なしとせず故に旅行に際しては其所持金千圓以內迄は之れを郵便貯金となし原簿所管廳にて現在高證明を受け置くときは其通帳を以て內地朝鮮臺灣樺太又は關東都督府管內等何れの本邦郵便局所にても拂戾を受け得るの利便あり而して帝國郵便局所の數は八千以上あるを以て到る處に普及し居れり卽ち郵便貯金通帳は一種の信用狀として利用し得べし

日報詩壇

光州雜詩[illegible]　成田碩內

[illegible]

北村樓會飲

六月五日、[illegible]民四十餘家、招余飲於北村樓、[illegible]

題忘吾莊

忘吾莊、三浦天山寓居之處、[illegible]

日報俳壇

樵子郎選

桔梗（五の日十の日合吟）季題は既に秋に入りぬ。

○桔梗放し馬小流も見ゆ　芳草樓

○障子の内に客あり桔梗剪る　浮碧樓

○桔梗折る足もと明り　坡柳

○桔梗濡れ色の照り雨なりし　乙雨

○白に切る山路なる桔梗　鳥堂

○桔梗一本ンにろろつく　目池

夏　雜

西日すや貴を居殘る窓茂り　虛神子

薬柳に牛繫がれて眼を閉ぢる　同

薫風や杏脫の苦水合む　同

法衣脫いで借力り清水汲む　同

蟲干や彼女聊さか衣に驕る　同

あるかなきかの涼風に灯のゆらぎ　同

紫陽花の今朝りたる虫の飛ぶ　北星

疲れては箸取りとなや花柘榴　同

葉櫻や夜學に早く遊び居る　同

婦人も男子も一齊に讀むべき斷食療法を見よ

婦人世界

斷食を實驗と効能　村井弦齋

余が三十八日間嚴格に實行したる

△愈々長期斷食の實行 △其の豫定順序と準備 △豫備斷食に如何にするか △斷食中の起居は如何 △肉體は如何に變化する △氣力精神の狀態如何 △第一週より第四週まで說明

我家の改良金錢支拂方…小笠原伯爵夫人

子供の神經質を治した實驗 子供の朝寢を治した實驗

小說 龍卷…渡邊霞亭

小說 雪中梅…下田歌子

長唄稽古の心掛け…吉住小三郎

魚と野菜を切る時の心得

九月の總菜…麥酒の肴

三秀才を出したる名譽ある 穗積（博士の家）教育法

女中か過失をした時の處置

九月號發行 一冊十七錢 郵稅一錢 半年一圓二十錢 一年二圓三十錢 東京京橋 實業之日本社 振替東京三六二

財團法人 電氣化學科特設 電氣學校

（晝間）（夜間）豫科一期二期 本科一期二期 ■募集生 入學申込は來る九月末日限 規則書は申込次第送附 東京市神田區錦町三の一八 電話本局七九八◉五一二〇

■校外生（特殊の通信教授）豫科講義錄出版 ■講習生（普通の通信教授）隨時入學

最近の鑛業法出づ 本書は於て他に比類なし

大正五年八月改訂增補 鑛業界の寶典

改正鑛業法註釋

內地鑛業法及砂鑛法の本條には關係條文を加へ關係法規及關係者の注意事項を羅集錄其他の類書と選を異にす 鑛業者は右一本を携ふ可し

定價壹圓 特價壹圓 郵稅十二錢

應用鑛山地質學 定價壹圓廿錢

鑛山必携

發行所 東京市日本橋通一丁目角 大阪市心齋橋筋博勞町角 高山堂 內外書籍目錄ハガキにて御申越次第送呈す

慶應大學 學生補欠募集

理財科・法科・政治科・文科 豫科一年（第二學期）

東京市芝三田 慶應義塾

簿記專修學校 募集 私立認可 日本簿記專修學校

再版賣切れ三版大增補發賣

朝鮮總督府屬 西村眞太郎著

朝鮮語會話

定價金八拾錢 郵稅六錢

受驗者必携の資料◉補珍總クロース四百頁頗美本

江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡して尙要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最も親切なる解說者たり是非共一本を机上に供へられよ

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 日韓書房 京城日報社代理部

大取次 大阪屋號 巖松堂 各地支局書肆

海員募集

最新の航海に關する學術を教授し卒業者は各汽船會社へ…

東宮殿下御買上 宮內省御用品

天下唯一 清水式無砂精米機

米界及び酒造界の勝利は 本機を使用するにあり

搗減僅少 發熱皆無 精白迅速の

米、麥 精白最良

陸軍御用選 製造發賣元 東京神田區五軒町三番地 合資會社 清水商會 特長電話下谷三七三四番 振替二〇七〇〇番

◉地方士事募集 二十五歲以上の紳士僧俗を不問數名採用 希望者往復郵券照會あれ

東京麴町區土手三番町三四 日本宗教學會

少年世界

初秋の爽氣滿つ九月號 東京本町 博文館

お伽小說 瀧の小法師…巖谷小波

少年アルプス…葛原䔥

一番面白かつた少年時代の夏の思ひ出話

冒險小說 飛行の化石…大河原壽 武田鶯塘

少女世界

お伽小說 笹舟草紙…巖谷小波

お父樣のお土產…沼田笠峰

私の最も感動したこと

白菊の露（少女小說）百合子

佐藤少將 松井

大阪期米

仁川米豆取引所

大阪商內

二十一日の十月限

◎我對支交渉

過大の要求を爲さず 親善の實を擧げん

鄭家屯事件に關する支那との交渉は未だ開始せられず外務當局は酒匂鐵嶺領事代理が事實調査の爲め鄭家屯に急行したれば其の報告を待つて交渉を開始すべしと云へり而して政府の方針は毫も過大の要求を爲す意志なき事は明白なり政府は支那をして日本に倚らしめ日支親善の實を擧げんとするに在るを以て徒に支那を苦しめ此の傾向を阻害するは好まざる所なり而して此の事件に關しては素より責むべきは責め取るべきは取るとするも公明正大中外に宣明して耻ぢざる態度を取り以て日支關係の大局に變化を生ぜしめざらん事を期するものゝ如し（東京特電）

◎鄭家屯事件調査

支那政府は鄭家屯事件に關し調査の爲め外交部員を同地に派遣すべし（奉天特電）

◎外交總長就任督促

黎大總統は二十日唐紹儀に書翰を發し外交總長に就任されたしとの最後の督促を爲したるが政府にては内賓氏の就任を斷念し居るものゝ如く然る上は陸徵祥氏を以て之に任じ鄭家屯問題の交渉に當らしむべく計畫し居れり（北京特電）

◎戰鬪宛然兒戲に等し

鄭家店を占領せる蒙匪軍は二十日午後一時より討伐軍と衝突したるが討伐軍は大敗し奉天より應援軍の到着を待ち二十一日午前十時再び大衝突あるべく期待さる尤も戰爭は兒戲に等しく面白き事限りなく滿鐵沿線は邦人の見物を以て滿さる二十日一流彈我が列車に命中せしも何等損害なし（奉天特電）

◎獨潜航艇英艦撃沈

英艦敵潜航艇一隻を撃沈す

倫敦來電に曰く獨逸潜航艇は十九日北海に於て英國輕巡洋艦ノツチンハム（五四四〇噸一九一四年建造）アルマウス（五二五〇噸一九一一年建造）を撃沈せり英國側にては敵潜航艇一隻を撃沈し他の一隻に衝角突入を行ひたるが多分之をも沈沒せしめたるならん（紐育特報）

◎文官華族陞叙

二十一日東京帝國大學法科大學校長土方博士以下文官並に華族百八十七名に對し左の如く位階陞叙の御沙汰ありたり中重なる者左の如し（東京特電）

叙正四位（各通）
從四位勳二 法學博士 土方寧
從四位勳一 理學博士 田中舘愛橘

叙從三位（各通）
從四位勳三 工學博士 中原淳藏
從四位勳三 理學博士 大幸勇吉

叙正四位（各通）

◎中旬貿易出超

大藏省の調査に係る八月中旬の外國貿易は輸出に於て生糸、茶、精糖、絹織物、銅、燐寸等の増加に依り前旬に比し一割五分を増加し三千二百十五萬二千圓輸入は棉花は増減なきも羊毛、石油、板鐵等の減退に依り前旬に比し二分を減少し一千七百零四萬三千圓にして輸出入差引一千五百十萬九千圓の輸出超過を示し一月以降の累計は一億四千六百零三萬七千圓の巨額に達せり（東京特電）

◎休戰妥協不日決定

十九日發養へイグ將軍の報告に曰く、シーブヴアルよりグイルモン南方に至る……（以下判讀困難）……鐵道停車場及び石切場を含有する同地郊外をも占領せり（倫敦電報）

◎各秘書官賜金

池邊遠藤兩秘書官

大正三四年戰役に關し二十一日各大臣秘書官並に朝鮮總督關東都督臺灣總督秘書官に對し行賞ありたり中朝鮮總督秘書官に關する分左の如し（東京特電）

朝鮮總督秘書官正六位 池邊龍一
叙勳五等授瑞寶章 一時賜金六百圓
朝鮮總督秘書官正七位 遠藤柳作
一時賜金百五十圓

◎豪雨出水の損害高

南鮮七道の豪雨と氾濫の諸江

死者百廿八名傷者五十名＝家屋の流失全潰二千八百餘戸＝米作減收見込十四萬七千石＝田作の損害五百二十餘萬圓

六月中の豪雨に因る水害區域は京畿、忠淸南北、全羅南北並に慶尙南北の七道に亘れるは既記の如くなるが之れに對する總督府の調査左の如し

▲降雨と出水 京畿道は六月十三日より十六日まで四日に亘りて豪雨あり主として漢江及び其の支流出水し、忠淸南北及び全羅北道に於ては六月十三日より十五日に亘りて豪雨を見次いで同月二十一日より二十八日に亘りて再び豪雨あり、忠淸南北道に在りては主として錦江及び其の支流氾濫し、全羅北道に在りては重に萬頃江、東津江並に蟾津江の氾濫せるに加へ益山及び臨陂、扶安、金堤、井邑の諸郡内に於ける低地部一帶に降雨滯溜せり、また全羅南道に在りては十四日より十六日に亘りて豪雨あり、次いで同月二十二日より二十七日に亘りて再び豪雨を見、主として榮山江及び其の支流出水し慶尙北道に於ては六月初旬以後霖雨歇まず同月十四日及び十五日に亘りて豪雨あり、次いで二十二日より二十五日迄の間屢々豪雨を見、洛東江並に其の支流氾濫し、慶尙南道に於ても亦六月初旬以後霖雨引き續き二十日に迨びて豪雨となり二十五日に至り漸く小降となりたるものにして二十八日に至り全く歇みしも其の結果洛東江及び其の支流殊に南江に於て著しく氾濫したり

▲被害の狀況 被害の狀況は地方に依りて自ら趣を異にするものあり、上流山間地方に在りては出水急激なる爲め其の浸水地域は廣大ならずと雖も人畜の死傷、家屋の流失、畓田の流失埋沒、並に道路橋梁の破損比較的多く、下流平野部に於ては浸水面積の廣汎なるに反し人畜の死傷、家屋其の他工作物の損壞、田畓の流失埋沒比較的少きも農作物殊に稻苗の腐蝕は夥しきものあり被害は全道を通じ死者百二十九名、傷者四十九名、行衞不明十五名、住家の流失三百六戸、全壞二千五百六十五戸、半潰三千三十七戸、床上浸水一萬三千百三十二戸、田作被害額五百二十萬五千百十七圓餘、畓の……

人

道名	死	傷	行衞不明	家 流失	全潰	半潰	床上浸水
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

田及び其作物の損害

道名	流失	浸水	作物損害高
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

畓及び稻作の損害

道名	流失埋沒	浸水稻苗腐敗	浸水の爲植付不能	米の減收
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲作物全滅地 浸水を被りたる畓の内二三日にして退水せる地域は殆んど何等の被害なく且つ浸水五日に及びたる地域に在りても或は根株の生氣を止め生育の見込あるものあり或は稻苗の腐蝕を免れたるものあり、其れ以上湛水せる地域内の稻苗に至りては殆んど腐蝕に歸せるが如し斯の如き畓は慶尙南道四千二百九十二町歩、全羅北道四千町歩、忠淸南道三千三百六十七町歩、全羅南道一千百四十二町歩、慶尙北道二百十町歩、忠淸北道三十町歩、合計一萬三千四十一町歩に達し内再植播種等善後策の施す可からざるもの三千七百四十三町歩に及べり、又た畑作物は稻苗に比し浸水日數短かき場合と雖も害を被るの度多きのみならず本年は降雨日數永きに亘りたる爲め忠淸南北、全羅南北、慶尙南北各道の如きは其の被害浸水の害と相俟ちて深甚なるものあり殊に麥は恰も收穫期に際して降雨ありしより流失又は降雨に曝され發芽若くは腐蝕せるもの夥しく今回の損害が畓に比し田に於て却つて多きを示せるは之れが爲めなり

支那軍事顧問 陸軍中將 青木宣純氏

◎鑛業より觀たる金剛山

現下採掘の重石鑛＝産鑛量＝風致問題＝含鑛は豐富なるべし

鑛務課長 村田素一郎氏談

過般金剛山を視察せる村田鑛務課長の歸來談に曰く、余は長官一行に先だち十一日元山に著したるが十二日長箭を發して金剛山に入る豫定なりしに風雨の爲め元山滯留三日に亙り十四日漸く長箭を出でたり、然るに歸途は便船の都合上豫定の如く十六日夜に乘船したる爲め金剛山の視察は僅々二日に過ぎず、從つて日程悉く匆卒し視察意の如くならざりしは遺憾の極なりき、却說

▲金剛山の内外 に亙りて現下採掘を許可せる重石鑛區は淮陽郡長揚面及び通川郡臨南面に各三區、杆城郡新北面に二區合計八鑛區にて之れ等は悉く三井の出願に係り昨年五六月、即ち新鑛業令の發布以前に於て土石採取規則に依り採掘許可せられたるものなり、而して其の鑛區面積は何れも比較的少く大體三四十萬坪なるが現に稼行せるは淮陽郡長揚面の第二四二〇、同二四二一及び通川郡臨南面の第二四二六號の三鑛に止まり其の他は未だ採鑛に充分ならざる豐富の鑛脈を發見する能はざるより稼行を見合はせ居れり

▲現下の産鑛量 は稼行中の鑛區を合し月約五噸の由なるが今回余の視察せるは通川郡臨南面と昨今風致問題の爲め稼行を中止し居れる杆城郡新北面との二鑛區のみ、前者は現在約二百五十名の鑛夫を使役し之に正式採掘に從事し又た淮陽郡長揚面の鑛區も二百名許りの鑛夫を役して採掘に從事しつゝある趣きなり、現在の鑛産額の左して大ならざるは主として其の撰鑛を手撰に委し居れるが爲めにして目下兩者とも撰鑛場の建設中なれば明年中には竣成す可く之れが完成の曉には掘採準備の整頓と相俟ちて其の産額を增加す可きこと疑を容れず而して此れ等の鑛區は何れも所謂金剛山景の外に在るを以て其の採掘精煉は

▲毫も金剛の勝景を害するの虞れなきも、杆城郡新北面なる二四三〇號鑛區は山景の範圍内に位置せることゝて前述の如く風致問題を惹起し遂に休行の止むなきに至りたるものにて、今回の視察も之れが調査を主眼としたる次第なるが之れに就きては當局に於ても種々の意見あり未だ解決の運びに至らざるを以て茲には消息を語る能はず、金剛山の内外を通じて現に許可せる鑛區は前記八區に止まれるも此他

▲重石及び水鉛等 の鑛區を目下出願中のもの少からず尙ほ新に發見せらるゝ鑛脈相踵ぐの狀態なれば其の内勝景以外の地に位置せるものは追々許可を得可しと雖も是れは二四三〇號の解決を經たる上ならでは許否不明なること論を俟たず、要するに今回は天候不良の爲め充分の視察を得ず諸般の調査亦意の如くならざりしも重石水鉛等の鑛脈が金剛山の内外に亙り極めて豐富なるは爭ふ可からざる事實にして將來囑目に値す可きもの亦少からざるものゝ如し

◎仁川鹽業近況

七月中に於ける仁川港の原鹽輸入高は五萬四千三百十九噸にして前月の三萬六千六百七十二噸前年同月の二萬四千八百八十六噸に比し著しく增加せり本品は春季需要期を經過せば一時先き僅かに漁期の需要を控ゆるのみにして例年減少すべき振合なるも本年は山東鹽豐作なりしと戎克船の來往頻繁なりし關係上增加の趨勢を示せり相場は在品潤澤を氣構へ弱保合の商狀にて一俵四十五錢を唱へたりしが一方再製鹽業も春期大需要期を經過せば夏枯期に入るが例なるも本年は京元線開通の結果元山方面より鹽魚用として注文頗る多く七月初めより八月上旬に至る發送高一千餘噸に達せり甚爲め各製鹽所は手不足に陷りつゝありしが本月中旬に入りては元山方面の漁用鹽も一段落を告げ頗る閑散となりて相場も高からず百斤九十四五錢處を唱へ居れり

◎平南金融組合數

平安南道に於ける金融組合の數は十六にして今回新に成川郡に增設中なれば之れが設立と共に都合十七箇所と成る可く一郡一箇所平均なるが平原郡の如きは一郡に三箇所の組合を有し組合員總數三千九百九十八人なりと

◎秋期機動演習

十月上旬より擧行せらる可き第十九師團秋期機動演習は平壤羅南及び大邱に於て各個に執行せらる可く其の日程及び統裁官左の如し

▲步兵第四十旅團（大邱）十月廿日より四日間 統裁官金久保旅團長
▲步兵第三十九旅團（羅南）十月六日より約五日間 統裁官大村旅團長
▲步兵第三十七旅團（平壤）十月六日より約五日間 統裁官市川旅團長

◎京義線列車延著

二十一日午前八時二十分安東縣發午後七時三十分南大門著の列車は開城、長湍驛間に於て機關車に故障を生じたる爲め二時間餘延著し午後十時過南大門驛に到著せるが同驛にては午後八時十分發釜山行特別列車を發車したるを以て京城以南の乘客は關釜聯絡に支障なきを得たり

◎山林課長歸任

總督府山林課長上林敬次郎氏は廿一日金剛山へ出張中の處二十一日午後五時十分南大門驛著列車にて歸任せり

人事消息

▲武藤文吉氏（江原道第一部長） 入京中の處二十一日朝歸道
▲遠藤政直氏（九州大學講師） 入京中の處二十一日夜安東縣へ
▲吉岡保作氏（九州帝大教授） 入京中の處二十一日朝元山へ
▲木田新松氏（海州農學校長） 入京中の處二十一日夜歸京

◎南言北語

澤來太郎君が大法螺貝を大隈侯に贈る事は既に紹介した筈である▲處が法螺を容るゝ箱の製作に今迄苦心して居たが之を聞いた國民黨の猛者連▲『ナーニ箱なぞの必要はないぢやないか大隈侯に贈るなら大風呂敷に入れて持つて行くに限る』と傳言してやつた▲澤君其れは至極妙案だと許り早速實行する事に定め入閣敷位の大風呂敷を註文したさうだ▲戸川殘花君が此の事を聞くと直に『今年も空に往來の雲多しと君の法螺にて吹きはらし給へ』と書して澤君に送つたのは面白い▲總督府の好釣連の荻田總務課長と大塚第二課長と田中事務官が此の間の日曜日に懲りもせず仁川に出掛けた▲何うした拍子か四尺餘の鱸を一本釣つて歸つて來た▲處が三人して此の鱸を釣つたと云ふのだから實際とすれば一人が一尺餘りづゝ釣つた譯だが其の樣な事は無い筈だから實際誰れが釣つたのだらうと探りを入れて見ると▲荻田君曰く顏色を見給へすぐ明るぢやないかとすます▲何でも荻田君が一番得意な顏色をして居たから實際に釣つたものは荻田君らしいと云ふが何うだか▲それは大きな聲では云はれぬが荻田君は聊か素人離れがして居れど大塚君と田中君はまだ何ぢや相な▲而し其の鱸も不幸なものですね—今龍宮ではトラホームでも流行して居るのでせうとは給仕君の感心談▲此奴は好かつた

◎露軍の突破前進

（判讀困難）

◎應援軍派遣者

（判讀困難）

講談 落語 娛樂世界 大九月號 看板揃の壯觀
◎俠客中座の淸七 ◎意地くらべ ◎千代田の五兵衞 ◎仁王の吉松 ◎同心山の太郎 ◎神田 ◎天狗の賊退治 ◎小僧霧太郎 ◎浴々生兵法論 ◎お光 ……

少女畫報 九月號
◎見ぬを棄て働く娘は美しい ◎步く魚と飛ぶ魚 ◎小さい友達 ◎島の女王 ◎寫眞小說 謎の ◎小猫 ◎蟲の音 ◎彼女の與へたる印象 ……

日本幼年 九月號
◎美しい繪と面白いお噺と ◎一つの繪一つの言葉にも綿密な注意 ◎紙數が多くて値段の安い教育的玩具です ◎子供の淸い美しい無邪氣なお友達です
子供の心を偉大なる良き化を與ふる雜誌
三歲から拾歲位までの子供は、お菓子や玩具よりも本誌を喜びます。……研究の大家青柳先生が綿密に監修されたものですから、安心して子供にすゝめられる教育的繪雜誌であります。子供ある家庭におすゝめいたします。

發行所 東京市京橋區鍛治橋外 東京社

書畫珍品 家具類 夜間競賣
下見廿四日午前ヶ午後四時迄
馬山浦に當地某家御所藏品數百點委託
右同日午後六時より即賣仕候
南山町松葉亭に於て 近藤博古堂

内科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 電話

◎英國大捷地點占領

（倫敦發）……ポジエール北方の高地ならびに……占領せ……の兩端及び高地の西方なる牛里の敵陣を保持し又ギインチーとグイ……[illegible]……案は今回上院の可決……（倫敦電報）

哈爾賓から

◆不思議な午前二時

八月五日 メトロポールホテルにて午前二時　櫻井生

君足下。私はそれからあの有名な『シャンタン』の舞曲場に這入りました。これが所謂人のいふ裸體ダンスなんです。而し私は豫期した程の興味を持つ事が出來ませんでした。以前は眞の裸體美を發揮したさうですが、只今のは半裸體とでも申しますか、餘程加減がしてある樣です。而し此の方が却て奥ゆかしくてよいと思ひました。舞踏の方には大した妙味はありませんが肉體の豐富な、曲線のあざやかな處に趣味津々と申す處があるのでせう。いろいろの草花に飾ざられた卓子を控へて、芳酒をあふつては喋々喃々と歡の盡るのを知らないといふ有樣です

あなたも御存じの露西亞風呂も

これから出掛けるのでせう。私は時間の都合で露西亞風呂に一浴を試みる事が出來なかつたのは誠に殘念な事でした。ハルビンの娛樂機關はまだこればかりでは御座いません。活動寫眞は舞踏以上の見物だといふ事を豫て聞いて居りましたが、惜しい事には十二時過ぎの例のフイルムは當分の取締が嚴しい爲、近頃中止となつてゐるとの事で御座います。私は劇場を出ました。先刻這入つてから降り出した雨でせう未だやまずに少しづゝ降つてゐました。私は外に雨の降るのも氣がつかずに居たのです。私は始めて自分の身形に氣がつきました。今日汽車から降りた其ままの汗みどろの姿なのです。よくこんな姿で

外國人ばかりの華やかな舞曲場

に這入つた事と自分ながら自分の勇氣に敬服しました。そして思はず吹き出さずにはゐられませんでした。私は通りへ出ました。たつた一二時間の驟雨で町は一面の湖と成つてゐるのです。馬車を備ふには言葉が通せず、たまに支那人の空馬車が來ても皆エンゲージなので私は此の埠頭區のはてから新市街のステーション前までどうしても歩かねばならぬ事となりました。時が既に午前の一時半です。小雨のしと〳〵と降る大きい建物の暗い町を只一人とぼとぼと歩くのは隨分心細ふ御座いました。これも皆公園歸りか男女の群れが三々五々何か頻りに私語いて歩いて居ります。町は一面の水なのでサイドウオークの水のつかない處をあちらこちらと辿つて歩くのです。どうしても水に這入らねばならぬ處や何とか工夫せねば渡れぬ處に來ると後から後からと來た人たちが一所に集つて御互に助け合つて無事に渡るのです

先方は雲つく大男私は特に小い

方で助けられる事ばかりでした。ジャンバルジャン見た樣な恰好の連中でも非常に親切であつた事を感謝しました。こんな些細な事でも露西亞人が如何に日本人に信頼してゐるかと窺はれて覺ねず微笑まれました。午前二時私は無事にホテルに歸りました。それからあなたに宛て第一信を書いたのです（つゞく）

◎米穀商を襲ふた二人組の兇賊

京城鍾路六丁目崔光善（三三）は明治四十四年十一月憲兵補助員勤務中竊盗罪に依り免職となり其後無職にて本年七月初め京畿道楊州郡與乾面思岐里生れ當時京城花園町職工崔方止宿中の盧賊升養植（三一）と共謀し豫て目星をつけある光熙町一丁目米穀商林忠煥方を襲はんと七月七日午前三時頃同人方に赴きたるも門戸の締り嚴重なるより崔光善は升養植の肩を踏台として土塀を乘り越ね共に侵入し錢金庫二個を奪はんとする際居員二名が目を覺したるより有合はせたる薪割を打破せて脅迫したる上強奪し二町隔りたる畑中に持行き之れを破壞して在中の現金七十圓を拔き取りて逃走し七月三日『申尤成』なる印章を僞造し之を使用して鍾路通の殘商申尤成の取引先なる鍾路二丁目米商柳敗錫より四圓五十錢を騙取したるを手初めに外數軒より同樣手段にて多額の金員を詐取し兩名共賭博に消費し居れることを本町署の刑事に探知せられて逮捕さる

◎厄介な被害者

僞證して笞六十を食よ

水原郡梅松面好梅里居住鍛冶工尹永權（三〇）は大正四年春頃同地南水里居住の許在成より蓄音機及び香譜の借用方を申込まれ該蓄音機は破損個所ありて附近の金友鎭なる者に修繕を賴みありとて自己の名刺に『わの蓄音機一臺及び香譜四十一枚は代金二十圓にて許在成に賣渡したり』と記載したるものを與へたるより在成は之を以て件の蓄音機等を受取り其後之を他に賣却したる爲め許在成は蓄音機を横領したりとの事にて逆に捜索せられ水原支廳にて懲役處分となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴中永權は證人として喚問を受けたる際豫て在成より教唆されありしものか法廷にて右の蓄音機は代金二十圓にて許在成に賣却したるものなりと僞證をなしたる爲め永權は京城地方法院にて笞六十の處分となる

◆蜂の子、鼈、山芋

皆精力のつくものばかり

一夕庵の清宴

▲一夕庵九分宗匠村田鹿鳴居士が二十日の晩自宅で清宴を開いた。目下入京中の小玉香象氏と後藤瑞巖師を主賓として一夕の宴を張つたのだが招かれた野田、芳賀、松尾、秋山、森安、吉田、阿部といふ流石各方面の粱の者も取り性の庵主が何を仕出すかと口に出してこそ言はぬが内心大びく〳〵期待してると▲スーツ〳〵と摺り足で現はれた莫迦に垢除けのした非常に綺麗な女中さんが日入分に捧げたものな一生の面前に置いた。美事な挟盆に載せてあつたものは蜂の子であつた。夫れから鼈の煮込が出る山芋の料理が出る。通で擬り屋の擬り屋たる庵主の意氣振りが遺憾なく現はした趣接ぶりである。瑞巖師にのみ解して居る嗜が出たのも不思議だと思はれたが特製精進料理を饗めてある處にも擬り屋の一端が仄いてる▲其席内に瑞巖の噂話がある香象の易談が出る諸宗匠の俳話が出る。誰一人默してる人とては無く、片言隻語針の樣な皮肉が含まれ機知の樣な警語が現はれる。食事が終ると玉突臺が出された。禿げた人や白い人が靑年の銕鬼大將氣質を發揮して機嫌りに噛付く樣子は甚しく珍中の珍▲話月前栽の木の間に好りじとして虫聲秋を偲むものかはと室内では誰句名詩を夫擬く鼠鼓出して待る處を知らぬ有れば近來の物であつたが庭中の秘術は他の窺知すべくもあらず又知れても洩す事が出來ぬ……其樣くて更夜散じたと云ふ。

◆寄せ返す邊 勇い地曳網

海雲臺から第五信　長城生

女波男波

松の露、水晶簾に碎ける心地に涼しい温泉の夜はあけた、廊下に立ち出づれば硝子戶越しに、青い海は幾千里眼の前に展がつて對馬の山は清らな朝の潮に紺青の夢を洗はれて紅がかつた紫の光は北處から逃しつゝ波の上に漂つた、日の出る前に一浴みと浴場へ這入ると清冽なる温泉は石の湯槽から四方へ瀧のやうに流れ落ちて谷川のやうに響いて居る、骨髓に浸透するやうに

◆柔らかく温かい

湯は肌を浸した『君と居て百年猶愛へすとさゝやく瀧よ石の湯槽に』の誰かの歌などが思ひ出された、夢の名殘もスッカリと醒めて快い氣分に浴物を著る時番臺の男に『潮は大變にお客が夥いぢやないか』といふと『エ、皆な日に燒けない樣に朝の內に海水浴を爲て日の盛りに溫泉へ這入るのです、朝の潮は溫かですからね』と云ふ十時頃、海岸へ出て見ると

◆海水浴が盛んで

あつた『何に日に燒けるが怖いぢやないです潮流の關係で午前の十一時頃まで潮が非常に溫かいのです』と昨日から溫泉で見知越しの美髯公が『ドゥです綺麗な泳ぎながら……』藻の屑一つ流れては居ないでせう、潮は大洋から直ぐに來るから此の通り清水の如うです。斯んな綺麗な海水浴場は滅多に有りませんよ』と大きな聲だ胸の邊りまでの深さは五丁も六丁も奥まで續いて居る、五人づれの婦人客が貝を頻りに獲つて居る『蛤ですか』と

◆大きな貝が二つ

いよ〳〵『淺蜊の大きいのです』といつて居る足の先で少し砂を搔くとすぐ四つ取れた『澤山に居りますね』と云ふと『これで居る處は帶のやうに渚に沿つて横長く幾筋か有るので此の群居地帶を外れると少しも居りません、何にしても貝の多い海です』斯うして海ぞこの砂を上げて御覽なさい土や砂は少しもなくて細かく磨かつた貝殼ばかりです』と美髯公が說明して呉れる、すぐ前の方を裸體の男が二三人船から釣をして居る矢張り海水浴のお客だ『何か釣れたア』と美髯公が大きな聲を出すと『鰈ばかりだ』と船の一人が

◆春を兩手で一寸

持上げて見せる、その內に渚の方で自分を頻りに呼んで居る者がある上つて見ると岩永氏と河村といふ此の邊の漁場の持主だ今地曳を揚げて居るから見に來いと云ふのだ二人の後に跟いて波打際を急いで東の方へ走つた、千鳥の群れが波際の砂に下りて寄せては返す男波女波に戲れて居る君が走つて行くと飛び立つて直ぐ其の先きに降りては又波に戲れて居る

◆眞白に波が湧き

海雲臺の岩が海に突き出た處は物凄く大波が碎けて夏雲のやうに高く上つて居る網場は河村氏の家の前の廣場であつた網はもう岸の近くまで曳き寄せられた、急いで舟に乘つて追め寄せて來た網の中を覗くと大小無數の魚族が背黑、背や白い腹を光らせて込み合つて居る鯖が電のやうに烈しく飛び廻る魚は右往左往に逃場を探して終ひには皆重なり上つて終つたもう網は魚が一杯で岸へ寄らない、兩方の網に付いて居た

◆四五十人の漁夫

は吶の聲を揚げた各自〳〵手網をもつて索敵こく魚を籠へ掬び込む、大きな籠へ二十も魚が一杯になつた時段々細網け岸へ上つて殘つた魚は網尻の袋へ這入つて終つた、網を上げてから漁場は大忙しである、釜山の魚市場へ出すものやら直ぐ加工するのやらに撰り分ける、いくら見て居ても見飽きのせぬ面白いものだ。それから煎子を製造する處を見た、鰮雜魚も煎子も田作も皆な鰯だといふ事なども聞いたり其外海に關する新らしい智識を得た、海氣浴場まで船で歸る、一浴みして濱の

◆松林に這入ると

其處には桔梗や野菊や紫苑やいろいろの秋草が咲いて居る、三十ばかりの婦人が木蔭のハンモックの上で何かに讀耽つて居る樣子、驚かせぬやうに跫音を忍ばせて松林を出る。海と山、溫泉と海水浴此の間を往き復りして居つたら何時まで經つても飽きる時はあるまいと思つた（終）

◎久原工場出火

損害高一千四百圓

二十一日正午鎭南浦久原製錬所浴場煙突より出火四十坪を燒失し午後一時鎭火せるが損害は千四百圓に達せり（鎭南浦特電）

◎女生徒の溺死

淸津小學校生徒

淸津小學校生徒一同は二十一日午後三時職員監督の下に輸城濱にて水泳中女生徒四名水に溺れ中三名は蘇生せしも山口あや（一二）は終に死亡せり（淸津特電）

◎太平通の賑ひ

夜市記念祝賀

太平通夜市は開市以來三箇年に相當せるを以て町內有志は夜市事務所と協議の上愈々近日より記念祝賀の爲め三日間踊屋臺を市場內（京城日報前より南大門迄）練り歩き町內空前に素人相撲を催し賑ひを添ゆる筈因に同町にては北部鍾路にて夜市開催以來出店數にかて若干の打擊あしども內地人の顧客多き爲め各店の商

野趣五題（四）

緬羊の草喰音のさく〳〵と新秋の氣は漂よへりけり

◎京城の傳染病

昨年に比して頗る尠い

京城に於ける本年の衞生狀態は極めて良好にして赤痢其他昨年に比し著しく少數を示し唯腸チブスが多少增加の傾きあるのみ本町及び鍾路兩警察署管內傳染病患者は左の如し

	八月計	大正五年計
赤痢	一一	五四
腸チブス	二四	一七四
パラチブス	五	二三
猩紅熱	三	五二
實布的里亞		一八
計	四三	三二一

◎長崎の虎疫

長崎縣下に於ける虎列拉病は二十一日正午迄の累計三百四十二名に達し二十日新患者長崎市內十四名郡部八名死亡二十四名あり新發生五村の內北松浦郡世知原村、西彼杵郡瀬戶村及び南高來郡深江村等もあり（長崎）

び劑は却つて從來以上に上り漸次增加しつゝありと

◎建築物を襲ふ

京城 櫻井町二丁目李漢甲（二）は七月九日午前八時頃新町遊廓組合事務所建築場に至り附屬の電燈コード線及び附屬品を取りたるを手初めに同日午後八時頃にも同所にて大工等の脫ぎある狩袴一枚を窃取し外一箇所にて小泥棒を働き京城地方法院にて懲役三箇月の處分となる

◎旭町のボヤ

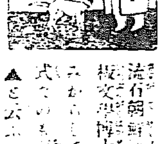
廿一日午後九時十五分頃旭町二丁目十番地京城印刷所宗像いつ方職人某が裏手物置に際蠟燭を點じ揮發油を取りに行きたる際蠟燭の火揮發油に移り一時に燃ゑ上りたるを直ちに消し止めたるが未だ宵口の事とて一時は中々の騷ぎなりき因に損害は六圓なりと

◎掏摸の處刑

愛知縣碧海郡刈谷町生れの神谷慶一（二）は一定の住所もなく京龍間を徘徊し六月十六日午後二時頃南大門驛にて旅客の香に取紛れ某內地婦人より雨傘一本黃金町三丁目八木某方にて縮緬兵兒帶一筋を窃取し京城地方法院にて七月初めには龍山驛構內にて洋傘一懲役四箇月の處分となる

◎避雷線を切取る

京城櫻井町柴商尹慶煥（三）は八月十三日夜初音町所在の電柱に附設しある避雷用の銅線七尺を切取り南大門市場の商人に賣却したる處を探偵の手に捕はる



流行朝鮮通の輩、學校文學博士好……みかたして朝鮮式でのものも……▲と云ふのは……

……入京する……京城ホテルの……離れの間に陣取つた其座は純朝鮮……式で……▲だが其實際に陣取つて見ると諸氏では甚だ具合が惡いので……朝鮮服屋を呼寄せ……上衣、袴……に足袋迄揃へさせ十圓札を拋り出して▲『思ひやい〳〵〳〵』日本の古い時代は矢ッ張り是れだつたのだ、聖德太子の御像などにあるのも……」と端然とおさまり返つた處は俺く迄甲の無い學者肌を露はしてゐる▲お向ひの四城館の二階では小玉香象氏頻りに虫喰ひ散した古本を繰つてゐたがハタと詐りに膝を叩いて悅んだ。齋名小商事石田たか子長男の名附親としてである『案ずるに……』と一寸威儀を整へた香象は其處にあつた卷紙を舒べて『隆俊』と大書した。是れは本年の五行納音本命九星の相生から割り出したものである▲お母さんも高ちやんだし息子も隆ちやんだし一家安全諸人平穩……

◎小玉香象氏出發

入京中なりし小玉香象氏は廿二日午前九時十分南大門發列車にて安東へ向ひ出發す

▲和合倶樂部一行來る

仁川歌舞伎座に於いて本社朝刊連載小說女の旅路の續を撮影して大喝采を博したる新派和合倶樂部一行は今回仁川を打ち上げ二十二日京城に乘り込み同夜より壽座に開演すべくその初日の狂言は葛瀨太刀にして活動式の幕無し大車輪にて勉強すべく入場料も二階十錢土間二十錢なりと

▲大正館　二十日より全部新寫眞を差替ねたるがその主なるものは左の如し
△貨物ツヰリヤンソン商報二十九號△宮劇マツキス大の功名△消防夫の假始△冒險活劇死の接吻全四卷△天然色寫眞ナイヤガラ大瀑布△舊劇宇和島騷動全四卷終編に近づきたる名金及び猪士連中の連鎖劇にて好評を博し居れり

京日案内

普通（一回（假名一個）金三十錢、一回增ス毎ニ十錢增加）
番外（一回金五十錢以上）

▲二十歲以上三十歲以下普通教育ある者一名雇入たし但し朝鮮語に通ずる者履歷書を要す（姓名在社）
▼委託販賣　新設　京城本町　代理店　橘川芳之助　▲普通

▲役金　京城旭町二ノ（旭町）　十御用達の御方へ……
▲特賣　京城大和町三丁目（大和町三丁目）……
▲京城永樂町二ノ七……
▲年齡十六七歲男菓子……
▲大猫牛馬の診療所……
▲低價……

▲古本高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　500
▲是非御試験……
京城春川間自働車　乘合自働車　京城發……
▲下宿屋讓る　……
本村源六郎
京城春川間寳塚自働車　京城南大門通一丁目　廣橋自働車
鑛物分拆　鑛山測量　金石商會　京城鍾路……
ほねつぎうちみくじき等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場
恩給年金　極秘低利融通　商品陳列館前　長期即時　江州屋本店
小兒科　內科　京城大和町二丁目（日の出橋下る）　爲春堂醫院
院主　古城　倜
龍山齒科醫院　龍山榮町　電話五五

魔法瓶　中山……
指環及時計　仁川本町　桑岐商店　電話三七〇番
大阪屋號書店　京城本町
現代相似論……　立志……　新法國事……　最新法律大辭典……

女鳩

渡邊默禪

「八二」旦那ツ、旦那ツ

續いてその跫音を耳にしたのは勇だつた。彼は隣の小舍から誰かと出て來て歩いてゐるのだと思つたので、深く氣にもとめなかつた。

と、同じ衾に寢てゐた卯太郎は、ぞつと手を伸して、いきなり勇の股を抓つた。

「あッ痛。な、何を爲るかッ。」

覺わず叫んで其手を捉へると、卯太郎は毛布を被つたなりに勇の顏

の下に天窓を持つて來て

「だ、旦那。來たせ、來たせ。」

と、戰く聲を忍ばせて言つた。

「來た？誰が？。」

「ぼ、亡靈だッ、亡靈だッ。」

「ねッ。」勇は慄然とした。が、直と氣を取直して笑つた。「莫迦なことを言ふなッ。誰か小用でも足しに出たんだらう。」

「いや、ぼでない(左樣でない)魔物だ。先刻の聲を聞いたら誰が外へ出られんべッ(出られるものか)出たりしたら直と殺されんのだ(殺されるのである)。」

怯う騷いで寄生蟲のやうにひたと軀を摺寄けた。勇は默つて猶も耳を澄した。

と、入口のところで何かごと〱と呟くやうな聲がして、夜飛に吹き煽られてか、垂れた蓆がばさばさと鳴つた。勇は餘程起きて見ようかと思つた。けれども立場る元氣がなかつた。

爐の上に穿けた煙拔きの穴が、吹雪が歇んでから孤を刎ねのけたま〻になつてゐた。其處から寒い月の光が流れ込んで來て、斜に鳩子の眉のあたりへ落ちてゐた。水銀のやうにしつとりと凝りついた明みのなかに甦るげに浮いてゐる石膏細工の彫像のやうな横顏は、白さをとふり越して寧ろ凄いほどに淡青かつた。

勇はそれを見詰めたま〻、硬くなつて外の物音に注意してゐた。幽靈とか靈魂とかいふものは、科學の上に於ては無價値な空想として取扱はれてゐる。けれども事實はそれを裏切して、いろんな神秘な謎をかけてゐる。某博士の妖怪研究などはまだ〱幼稚なものとして、世の識者から輕蔑されつ〻ある。彌うした竅界の消息を何處までも突込んで研究しようとする學者の團體が、歐米にいくつも出來てゐる。幽靈話は科學の本場である獨逸や米國に一番多いから不思議だ。英國のロンドンばかりでも金箔つきの化物屋敷が百五十軒の餘もあるといふぢやないか。夢に魂が入つて來たり、怨のある魂が殺された場所にさまよつてゐるといふ話は、日本ばかりではない。西洋にもそんな例が澤山ある。普佛戰爭の時分に共和黨の大統領であつたシールス氏が、故郷マルセイルスの朋友が死んだのを三度までも夢に見たり、米國ボストンの紳士がバッファロー府に旅行中、妻君の殺されたことを夢に見て急いで歸つたら、果してその通りの光景であつたなどした話は、有名なものである。して見ると今夜の怪事は全く無意味なものとして受取る譯にはいかぬ。一體何といふことだらう——いつか本の上で見たことが鮮かな追憶になつて、緊張して勇の胸をそ〻つた。俺う思つて外の物音を聞くと、何だか得體の知れない形がふら〱と蠢いてゐるやうに想像されて、錐より尖くなつた神經の末梢をこの冷たい手で握られるやうだ。

「旦那ッ、旦那ッ。ちよつと起きてけらつせ。旦那ッ。」

途端に戸口で破れた聲がした。それが源作のやうであつた。

勇はぞくりとした。

皮徽科
皮膚病 徽毒病 痲病 膀胱 生殖器 機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

京城本町三丁目(電車停留場前)
伊藤[illegible]醫院 電話二三七番
醫學士 伊藤 隆

俳諧散心(第五十)

稻妻

たまはさと辭し去る客や稻妻す　庵中子
稻妻や聽講の窓に頻りなる　同
稻妻や誤診わざ〱つ〻も疑る　田打夫
稻妻やきらり又來る河の闇　同

蜻蛉

鷄を割く頭の上や赤蜻蛉　庵中子
別莊や蜻蛉の翅下に海を見る　同
蜻蛉よ壁の中に蟷螂が聲みる　同
枕木を飛び〱跳んは釣　たかし
飛べ〱と蜻蛉は窓を眺め發　同
蜻蛉や保備また戸毎踊りゆく　田打夫
蜻蛉が湖底の石のありどころ　同

花野

酒造る村の白壁や花野ゆく　庵中子
花野をや雲流れ來て影爍す　たかし
花野路に油紙の屍昇ぐ二人哉　同
此邑に住む憲兵と花野ゆく　同
雲飛べば忽ち射る陽花野哉　田打夫
分けゆけば馬骨捨てある花野哉　同

新刊紹介

▲朝鮮鑛業要覽 朝鮮に於ける地質及び礦床調査の沿革地質の大要より朝鮮に於ける鑛業の槪況を說き代表的鑛物及び土石其產地に入りて各鑛物の礦床鑛脈を十數章に細別して一々之を說明し終に礦業に關する法規其の他の鑛業關係法規を載せ附錄に朝鮮全土を色別にせる朝鮮地質鑛產圖を附し朝鮮全土の地質及び礦石分布の狀況を一目瞭然たらしめたり朝鮮鑛業界の羅針盤たるべし(一圓二十錢京城大和町一の五〇朝鮮鑛業研究會)

▲講談俱樂部(九月號)奈良茂妖婦お玉、千鳥調、籗刀の怨の長篇物を初めとし活動寫眞講談、浪花節等加例(二十八錢東京市本郷區坂下町四八講談社)

▲文化政策の生物學的基礎(東西時論第六編)現今のマックス、フェルヴォルンの著を譯述せるもの文明問題の批判の根據、文明の定義及び分類、戰爭及び文化の諸問題、大戰の具體的觀察、戰爭の利益等の諸章より成る(十錢東京市京橋區加賀町四通俗大學會)

▲現はれたる軍國主義(東西時論第七編)米國オーエン、ウヰスター著を譯述せるもの一名獨逸の弱點と稱す十九章に分ち幾多の實例證言を舉げて戰爭に對する吾人の覺悟を說けるもの其の結論の一句に曰く[illegible]には犧牲を拂ひ過ぐる事もあらうが吾人は自己の魂を發見し之を保たんが爲めには如何なる高價をも辭せず」と(十錢東京市京橋區加賀町四通俗大學會)

●●●●●●●●●●●●●●●

▲朝鮮諸官署受驗者必讀法律問答『改上朝鮮著』 著者が數年上の實際より得たる經驗に基き法學通論、憲法、朝鮮行政法及び民法中特に緊要の問題を選び之を問答體に編纂し以て朝鮮に於ける各種の採用試驗に應ぜんとする者の口述試驗の參考に資せんとせるもの著者の別著朝鮮諸官署受驗者必讀法律講義と參照せば一層便宜なるべく[illegible]朝鮮行政法規物要と兩法[illegible](四十錢京城本町一大阪屋號)

▲朝鮮(八月號)三十五錢大阪府大正寺村大正寺二八六大阪陽明學會

▲新朝民(八月號)十五錢東京市神田區駿河臺[illegible]大日本國民中學會

▲新世(八月號)[illegible]

[illegible]

▲和歌浦内へは[illegible]汚穢物掃除[illegible]が來ないが何うした譯だらうか(閑日生)▲池畔[illegible]の小供相撲は毎夜却々盛になつたが、あの角力熱の旺盛より學生大相撲を催しては何うです(立行司)▲荷車に切石を積んでろく〱縛つてないから車の動く度に落ち相になつて行く實に危險千萬だ其う云ふのは見付けしだいドシ〱やかましく云つて貰ひたい昨日大和町で僕は殆んど危ない處であつた(脚夫)▲京城の湯錢は法外に高い上に上り湯が少くおまけに浴槽の底が淺くて流すことも何も出來ぬのはひどい(湯好男)▲南大門通りの某カフヱーに能く勘定を間違へる女中が一人居る此の間僕の隣に居た客が間違へられて立腹して居たが今度は僕がやられた(ニブロン生)▲此の間貴紙に龍山に水天宮のお社を建てろとあつたが大に賛成だ何なら總督か神官になつても宜敷(新神職)▲水原の西湖には此頃螢が非常に飛んで居ますから御覽にお出なさい(水原一女子)▲此頃又本町通りの右側通行が亂れて來た第一自轉車の取締をすべし(水庄の三公)

▲新古書籍廉價賣買 雜誌廻讀會員募集 ●京城本町一 松井松榮堂書店
▲古本高價買受 ●電一三七八▼

商況

大阪株式特電

[illegible]

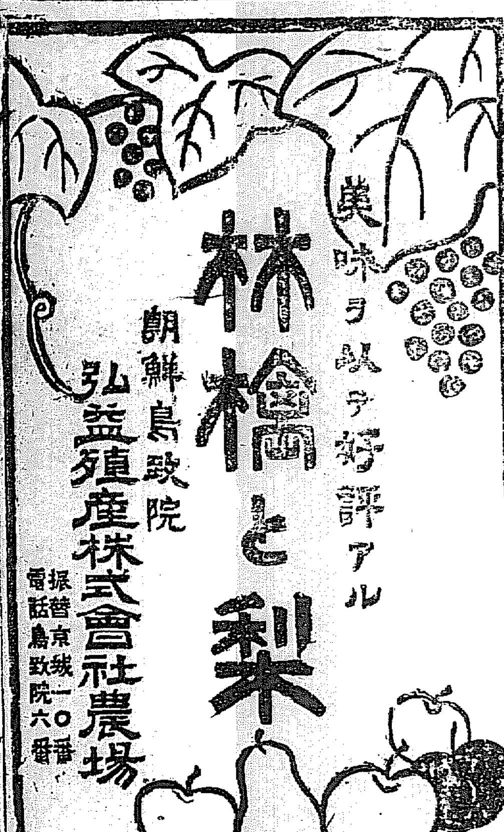
下關期米特電

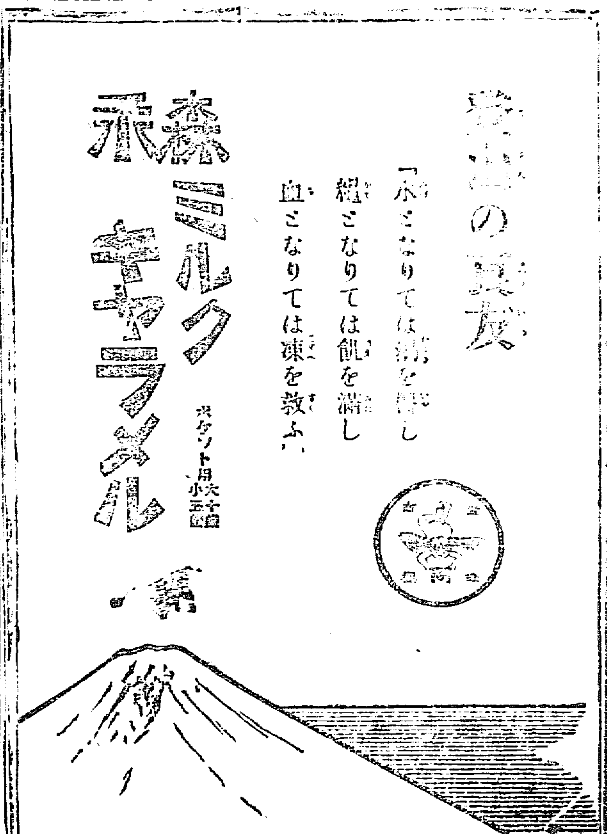
[illegible]

▲現物界 [illegible]

▲纜て賣る [illegible]

寄付 十三圓五十六錢 [illegible]

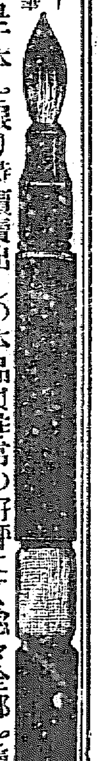




タイヨー萬年毛筆

最に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし

京城日報社代理部 (京城公平通二丁目 振替京城三一〇番)



瀨戸醫院 外科 皮膚科
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戸潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト
場主 獸醫 肥塚正太
京城蓮池町四 東亞牧場 (電話五二番)

質
京城黃金町二丁目永樂町(停留所北入)
堀佐營業所 (電話六三九番)

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 山神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日(廿一日廿六日)午後十時出帆
釜山北濱立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

關東都督府命令船 芝罘、大連行 第十三共同丸 八月廿三日後四時入 八月廿五日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて貨客連絡輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船と連絡 同航路にては漁業外輸取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町二丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 (電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門 電話二六八、二〇一七 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路を除く[illegible]
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 須磨丸 八月廿七日 安東丸 九月三日 天草丸 八月廿九日 後五時出帆
○鎮南浦、龍岩浦、安東縣行 清州丸 八月廿六日 後三時出
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 八月廿七日 木浦丸 九月十四日 後二時出
○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 八月廿三日 後二時出
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 八月廿二日 九月九日 後二時出
○大連直行 日米丸 八月廿五日 福州丸 九月四日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 潮州丸 九月十日 後二時出
○清津、浦潮行(元山出帆) 城津西湖津三寄港浦潮不寄港 安平丸 八月廿七日 宮島丸 九月二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 九月二日 後六時出 基隆丸 八月廿四日 前四時出
御注意 [illegible]
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 内國通運會社京城支店 電話七〇八番

朝鮮郵船出帆

[illegible] 京城南大門[illegible]支店 (電話一七〇番)
○全羅丸 八月三十日 ○京畿丸 九月九日 ○黃海丸 八月廿四日 ○咸鏡丸 九月三日 門司より釜山各港經由 釜山發
○城津丸 九月一日 ○昌平丸 八月廿九日 ○鏡城丸 八月廿五日 元山より各港經由 元山發
○忠清丸 八月三十日 ○平安丸 九月八日 城津清津浦鹽寄港 元山發
○永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
○登徳丸 甘浦、九龍里、浦項各港寄港 九月一日 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 浦項發 釜山發
○三浦丸 長承浦、巨濟、統營、三千浦方面寄港 八月廿九日 釜山發
○海州丸 ○巨濟丸 毎日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 八月廿五日 木浦發
○慶興丸 南多島海列島行 九月一日 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行(東廻) 八月廿七日 木浦發
○宗信丸 海州他各港經由 八月廿九日 仁川發
○江原丸 青島、大連、芝罘行 八月廿六日 仁川發
○麗水丸 九月一日 ○晉州丸 八月廿五日 各港經由木浦行 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 江華島、桐尾島、海州行 毎日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 八月廿三日 後四時出帆
○大有丸 八月廿七日 後五時出帆
○神代丸 八月 日 後四時出帆
○秀吉丸 八月廿八日 後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行
相模丸 九月七日 後八時出
高砂丸 八月廿七日 正午出帆
三河丸 八月 日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部